

2023年6月4日

業績書

よしえ きとる
吉江 悟

〒277-0082 千葉県柏市緑ヶ丘 11-5
一般社団法人 Neighborhood Care
TEL: 04-7157-0760 FAX: 04-7157-0759
MAIL: yoshie@neighborhoodcare.jp

目次	頁
1. 経歴.....	2
2. 免許・資格.....	4
3. 関心.....	4
4. 学会活動.....	4
5. 論文.....	5
6. 著書.....	11
7. その他メディア掲載等.....	13
8. 学会発表.....	14
9. 研究報告書.....	28
10. 受賞.....	34
11. 競争的予算.....	35
12. 研究分担者・委員等.....	37
13. 講義・講演.....	42

1. 経歴

(1) 学歴

- 1995.4-1998.3 茨城県立 土浦第一高等学校 普通科
1998.4-2000.3 東京大学 教養学部 理科一類
2000.4-2002.3 東京大学 医学部 健康科学・看護学科(卒業: 保健学士)
2002.4-2004.3 東京大学 大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 修士課程(修了: 保健学修士)
2004.4-2007.3 東京大学 大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 博士課程(単位取得退学)

(2) 研究教育歴

- 2004.4-2004.6 東京大学 医学部 健康科学・看護学科 ティーチングアシスタント(担当科目: 社会調査実習)
2007.4-2009.3 東京大学 大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 健康学習・教育学分野 客員研究員
2007.9-2008.3 東京大学 総括プロジェクト機構 ジェロントロジー(老年学)寄付研究部門 リサーチフェロー[老年学に関する全学横断型教育プログラムの企画運営/地方自治体等との共同研究等に従事]
2008.4-2009.3 東京大学 総括プロジェクト機構 ジェロントロジー(老年学)寄付研究部門 特任研究員[学内規則改正に伴う職名変更]
2009.4-2011.3 東京大学 大学院医学系研究科 グローバル COE プログラム 次世代型生命・医療倫理の教育研究拠点創成(UT-CBEL) 特任助教[患者相談や臨床倫理に関する研究/現任者教育に従事]
2009.4-2010.3 東京大学 医学部附属病院 医療評価・安全・研修部 患者相談・臨床倫理センター 届出研究員
2009.4-2012.3 目白大学大学院 看護学研究科 非常勤講師[看護倫理特論を担当]
2010.4- 東海大学大学院健康科学研究科 非常勤講師[看護倫理を担当]
2010.4- 東京医療保健大学大学院保健学研究科 非常勤講師[看護マネジメント特論 IV を担当]
2011.4-2014.1 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任研究員[在宅医療/訪問看護に関する研究/現任者教育に従事]
2014.2-2015.4 東京大学 医学部附属病院 老年病科/東京大学 医学部 在宅医療学拠点 特任助教[在宅医療/訪問看護に関する研究/教育に従事]
2014.4- 慈恵柏看護専門学校 非常勤講師[在宅看護方法論を担当]
2015.3- 一般財団法人オレンジクロス 研究員(非常勤)[地域包括ケアに関する研究に従事]
2016.4-2020.3 千葉県立野田看護専門学校 非常勤講師[在宅看護概論を担当]
2015.5-2017.3 東京大学 医学部附属病院 老年病科/東京大学 医学部 在宅医療学拠点 特任研究員(非常勤)[在宅医療/訪問看護に関する研究/教育に従事]
2017.5-2020.3 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任研究員[在宅医療に関する研究に従事]

- 2017.5- 柏市非常勤特別職: レセプトデータ分析アドバイザー[在宅医療・介護連携推進事業に関するレセプトデータ分析に従事]
- 2017.7-2017.10 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 訪問研究員[在宅医療政策に関する研究に従事]
- 2017.10-2022.9 筑波大学 ヘルスサービス開発研究センター 研究員[ヘルスサービスに関する研究に従事]
- 2017.11-2020.3 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 特任研究員[在宅医療政策に関する研究に従事]
- 2018.8-2019.3 横浜市立大学大学院 医学研究科 非常勤講師[地域看護学特講を担当]
- 2018.10- 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 非常勤講師[老年サポートシステム・制度論を担当]
- 2019.1- 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 客員研究員[地域包括ケアに関する研究に従事]
- 2020.4- 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 非常勤講師[看護ケア技術開発特論 A を担当]
- 2020.4- 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学教室 訪問研究員[在宅医療政策に関する研究に従事]
- 2020.5- 東京大学 高齢社会総合研究機構 客員研究員[在宅医療に関する研究に従事]
- 2020.5- 東京大学 未来ビジョン研究センター 客員研究員[在宅医療に関する研究に従事]
- 2020.10-2022.3 東京情報大学 看護学部 非常勤講師[保健福祉行政論を担当]
- 2022.10- 筑波大学 ヘルスサービス開発研究センター 客員研究員[ヘルスサービスに関する研究に従事]
- 2023.4- 広島大学 医学部 客員准教授[地域包括ケア論を担当]
- 2024.4- 筑波大学 ヘルスサービス開発研究センター研究員[ヘルスサービスに関する研究に従事]

(3) 臨床経験等

- 2000.4-2002.3 東京都教育相談センター アドバイザリースタッフ(学生等スタッフ)[学校訪問による児童・生徒の遊び相手、話し相手]
- 2002.10-2005.3 練馬区 光が丘保健相談所/北保健相談所/豊玉保健相談所 保健師[健診業務に従事]
- 2004.9-2006.3 特定非営利活動法人 メンタルケア協議会 電話相談員[介護支援専門員を対象とした電話相談/調査研究業務に従事]
- 2005.4-2007.8 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 本院 夜勤専門看護師[病棟看護業務に従事, うち 2005.4-2006.3 は三交替勤務; 2006.4-2007.8 は準夜勤/深夜勤専従]
- 2010.4-2012.3 東京大学 医学部附属病院 医療評価・安全・研修部 患者相談・臨床倫理センター 届出診療員[患者相談/臨床倫理コンサルテーション業務に従事]
- 2012.4-2014.3 訪問看護ステーションけやきの木 非常勤看護師[訪問看護業務に従事]

- 2015.7- 一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事[訪問看護ステーション ビュー
トゾルフ (BUURTZORG) 柏等の運営に従事]
- 2015.10- 訪問看護ステーション ビュートゾルフ (BUURTZORG) 柏 看護師/保健師
[訪問看護業務に従事]
- 2016.5- 柏市社会福祉協議会委嘱 新田原地域支えあい推進員[生活支援体制整備のため
のコーディネート業務に従事]
- 2018.12- 訪問看護ステーション ビュートゾルフ (BUURTZORG) 柏 管理者[訪問看
護業務に従事]

2. 免許・資格

- 2002.4 看護師(第 1184124 号)
- 2002.4 保健師(第 106430 号)
- 2003.3 第一種衛生管理者(第 13000991391 号)
- 2003.4 養護教諭 2 種(平 15 養 2 第 14 号)
- 2015.9 食品衛生責任者(柏第 27-322 号)
- 2018.3 日本公衆衛生学会認定専門家(第 922 号)

3. 関心

広くは、保健医療福祉サービス利用者がサービスや療養場所等の選択を行う際に、その意思決定の質を向上させるために保健医療福祉従事者が行う支援のあり方について、一貫した関心を有する。現在の主な研究教育の対象は、看護師/介護支援専門員/病院患者相談窓口担当者/臨床倫理コンサルタントであり、具体的には、(1) 治療や療養場所等の選択を支援するために看護師が果たす役割、(2) 介護保険という一定の制約下にある介護支援専門員が、制度の枠内あるいは制度の枠を超えて利用者の選択を支援する役割、(3) 患者-医療者間、医療者-医療者間で最善と考える選択が一致しない場面において病院患者相談窓口担当者や臨床倫理コンサルタントが果たす役割、等に関連した研究/教育/実践を行っている。研究手法は、定量的/定性的な社会調査法を用いる。関連する学問領域は、看護学/社会福祉学/医療倫理学/社会科学など複数にわたる。また、医療と介護、病院と在宅、医療者と患者、医師と看護師、研究と実践等、特定の立場の間をつなぐ活動に強い課題意識と動機を有する。

4. 学会活動

(1) 会員

- 1) 日本公衆衛生学会 (2002-)
- 2) 日本老年社会科学会 (2004-)
- 3) 日本ケアマネジメント学会 (2004-)
- 4) 日本成年後見法学会 (2008-2018)
- 5) 日本医療・病院管理学会 (2009-2022)
- 6) 日本医学教育学会 (2010-2020)
- 7) 日本看護科学学会 (2010-)
- 8) 日本看護倫理学会 (2010-2023)

- 9) 日本社会福祉学会 (2010-2022)
- 10) 日本在宅医療学会 (2012-2019)
- 11) 日本在宅医学会(2012-2019)
- 12) 日本老年医学会(2012-)
- 13) 日本在宅看護学会(2015-)
- 14) 日本看護研究学会(2016-2023)
- 15) 日本プライマリ・ケア連合学会(2016-)
- 16) 日本看護管理学会(2017-)
- 17) 日本在宅ケア学会(2018-)
- 18) 日本在宅医療連合学会(2019-)

(2) 役員・評議員・代議員

- 1) 日本看護倫理学会 代議員(2015-2017)
- 2) 日本在宅医療連合学会 評議員(2019-)
- 3) 日本公衆衛生学会 代議員(2019-)
- 4) 日本プライマリ・ケア連合学会 代議員(2021-)
- 5) 日本在宅看護学会 代議員(2022-)
- 6) 日本在宅看護学会 理事(2022-)

(3) 査読

- 1) Geriatrics and Gerontology International
- 2) BMC Health Services Research
- 3) 日本看護倫理学会誌
- 4) 日本プライマリ・ケア連合学会誌
- 5) 日本在宅医療連合学会誌

(4) その他委員

- 1) 日本在宅ケア学会 政策提言検討委員会(2018-)
- 2) 日本在宅医療連合学会 研究委員会(2019-)
- 3) 日本在宅医療連合学会 倫理・利益相反委員会(2019-)
- 4) 日本在宅医療連合学会 新型コロナウイルス対策ワーキンググループ(2020-)
- 5) 日本在宅医療連合学会 在宅×救急ワーキンググループ(2022-)
- 6) 日本プライマリ・ケア連合学会 大都市圏医療委員会(2019)
- 7) 日本プライマリ・ケア連合学会 地域包括ケア委員会(2020-)
- 8) 日本プライマリ・ケア連合学会 看護師部会 看護学生・看護師キャリア支援部門(2022-)
- 9) 日本公衆衛生学会 認定専門家試験委員(2020)
- 10) 日本在宅看護学会 広報委員会(2022-)

5. 論文

- (1) 学位論文

- 1) 吉江悟. (2004). ケースへの対応に関して介護支援専門員が抱く困難とそれに対する研修・社会的支援の役割.(2003 年度東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士論文, 指導教員: 甲斐一郎)
 - 2) 吉江悟. (2002). 行政保健婦の捉える高齢者在宅介護における困難事例の分類と対応の現状: ある地方小規模都市において.(2001 年度東京大学医学部健康科学・看護学科卒業論文, 指導教員: 甲斐一郎)
- (2) 雑誌論文(査読有)
- 1) Sakka, M., Nagamine, Y., Yoshie, S., Hirahara, Y., Nagata, S., Jinnouchi, H., & Yamamoto-Mitani, N. (2023). A Project to Distribute Personal Protective Equipment to Homecare Agencies during the COVID-19 Pandemic: Its Association with the Sense of Security Improvement among Homecare Nurses/Helpers. *Health & Social Care in the Community*, doi.org/10.1155/2023/2062225.
 - 2) Sun, Y., Iwagami, M., Komiyama, J., Sugiyama, T., Inokuchi, R., Sakata, N., Ito, T., Yoshie, S., Matsui, H., Kume, K., Sanuki, M., Kato, G., Mori, Y., Ueshima, H., & Tamiya, N. (2023). Association between types of home healthcare and emergency house calls, hospitalization, and end-of-life care in Japan. *Journal of the American Geriatrics Society*, doi.org/10.1111/jgs.18268.
 - 3) Sun, Y., Iwagami, M., Komiyama, J., Sugiyama, T., Inokuchi, R., Sakata, N., Ito, T., Yoshie, S., Matsui, H., Kume, K., Sanuki, M., Kato, G., Mori, Y., Ueshima, H., & Tamiya, N. (2023). The effect of home care support clinics on hospital readmission in heart failure patients in Japan. *Journal of General Internal Medicine*, doi: 10.1007/s11606-023-08030-9.
 - 4) Sun, Y., Iwagami, M., Sakata, N., Ito, T., Inokuchi, R., Uda, K., Hamada, S., Ishimaru, M., Komiyama, J., Kuroda, N., Yoshie, S., Ishizaki, T., Iijima, K., Tamiya, N. (2022). Development and validation of a risk score to predict the frequent emergency house calls among older people who receive regular home visits. *BMC Primary Care*, doi: 10.1186/s12875-022-01742-7.
 - 5) Suzuki, A., Jin, X., Ito, T., Yoshie, S., Ishizaki, T., Iijima, K., & Tamiya, N. (2022). Factors affecting care-level deterioration among older adults with mild and moderate disabilities in Japan: Evidence from the nationally standardized survey for care-needs certification. *International Journal of Environmental Research and Public Health*, doi: 10.3390/ijerph19053065.
 - 6) Mitsutake, S., Ishizaki, T., Tsuchiya-Ito, R., Uda, K., Jinnouchi, H., Ueshima, H., Matsuda, T., Yoshie, S., Iijima, K., Tamiya, N. (2022). The effects of early post-discharge rehabilitation services on care-needs level deterioration in older adults with functional impairment: A propensity score-matched study. *Archives of Physical Medicine and Rehabilitation*, doi: 10.1016/j.apmr.2021.12.024.
 - 7) 光武誠吾, 石崎達郎, 土屋瑠見子, 吉江悟, 飯島勝矢, 田宮菜奈子. (2022). 介護保険サービス限度額内で通所リハビリテーションの利用が難しい外来維持期リハビリテーション患者

の実態と特性. 医療と社会, 31, 573-582.

- 8) Handa, N., Mitsutake, S., Ishizaki, T., Nakabayashi, T., Akishita, M., Tamiya, N., Yoshie, S., Iijima, K. (2021). The associations of co-prescribed medications for chronic co-morbid conditions in very older adults with clinical dementia: A retrospective cohort study using insurance claims data. *BMJ Open*, doi: 10.1136/bmjopen-2020-043768.
- 9) Ito, T., Mori, T., Shimafuji, N., Iijima, K., Yoshie, S., & Tamiya, N. (2021). Prevention services via public long-term care insurance can be effective among a specific group of older adults: A city claim data analysis. *BMC Health Services Research*, doi: 10.1186/s12913-021-06495-0.
- 10) 北村智美, 五十嵐歩, 吉江悟, 森田光治良, 城大祐, 飯島勝矢, 山本則子. (2021). 高齢慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸リハビリテーションの利用実態:医療介護レセプトデータ分析. *日本老年医学会雑誌*, 58, 111-118.
- 11) Shimada, K., Hamada, S., Sawano, M., Yoshie, S., Iijima, K., & Miyata, H. (2020). Guideline-based medications for older adults discharged after percutaneous coronary intervention in a suburban city of Japan: A cohort study using claims data. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*, 252, 143-152.
- 12) Tsuchiya-Ito, R., Ishizaki, T., Mitsutake, S., Hamada, S., Yoshie, S., Iijima, K., & Tamiya, N. (2020). Association of household income with home-based rehabilitation or home-help service utilization among long-term care insurance beneficiaries using home care services. *BMC Geriatrics*, doi: 10.1186/s12877-020-01704-7.
- 13) Iwagami, M., Taniguchi, Y., Jin, X., Adomi, M., Mori, T., Hamada, S., Shinozaki, T., Suzuki, M., Uda, K., Ueshima, H., Iijima, K., Yoshie, S., Ishizaki, T., Ito, T., & Tamiya, N. (2019). Association between recorded medical diagnoses and incidence of long-term care needs certification: A case control study using linked medical and long-term care data in two Japanese cities. *Annals of Clinical Epidemiology*, 1(2), 56-68.
- 14) Adomi, M., Iwagami, M., Kawahara, T., Hamada, S., Iijima, K., Yoshie, S., Ishizaki, T., & Tamiya, N. (2019). Factors associated with long-term urinary catheterisation and its impact on urinary tract infection among older people in the community: A population-based observational study in a city of Japan. *BMJ Open*, doi: 10.1136/bmjopen-2018-028371
- 15) Noguchi-Watanabe, M., Maruyama-Sakurai, K., Yamamoto-Mitani, N., Matsumoto, Y., Yoshie, S., Iijima, K., Yamanaka, T., & Akishita, M. (2019). A community-based program promotes interprofessional collaboration among home healthcare professionals: A non-randomized controlled study. *Geriatrics & Gerontology International*, doi: 10.1111/ggi.13681
- 16) Mori, T., Hamada, S., Yoshie, S., Jeon, B., Jin, X., Takahashi, H., Iijima, K., Ishizaki, T., & Tamiya, N. (2019). The Associations of multimorbidity with the sum of annual medical and long-term care expenditures in Japan. *BMC Geriatrics*, doi: 10.1186/s12877-019-1057-7
- 17) Hamada, S., Takahashi, H., Sakata, N., Jeon, B., Mori, T., Iijima, K., Yoshie, S., Ishizaki,

- T., & Tamiya, N. (2019). Associations of household income with health services utilization and health care expenditures in people aged 75 years or older in Japan: a population-based study using medical and long-term care insurance claims data. *Journal of Epidemiology*, doi: 10.2188/jea.JE20180055
- 18) Kuroda, N., Hamada, S., Sakata, N., Jeon, B., Iijima, K., Yoshie, K., Ishizaki, T., & Tamiya, N. (2018). Antipsychotic use and related factors among people with dementia aged 75 years or older in Japan: A comprehensive population - based estimation using medical and long - term care data. *International Journal of Geriatric Psychiatry*, doi: 10.1002/gps.5041
 - 19) Jeon, B., Tamiya, N., Yoshie, S., Iijima, K., & Ishizaki, T. (2018). Potentially avoidable hospitalizations, non-potentially avoidable hospitalizations, and in-hospital deaths among residents of long-term care facilities. *Geriatrics & Gerontology International*, 18, 1272-1279, doi: 10.1111/ggi.13458
 - 20) Mori, T., Tamiya, N., Jin, X., Jeon, B., Yoshie, S., Iijima, K., & Ishizaki, T. (2018). Estimated expenditures for hip fractures using merged healthcare and long-term care claims data from Japan. *Archives of Osteoporosis*, doi: 10.1007/s11657-018-0448-2.
 - 21) Ota, S., Kudo, K., Taguchi, K., Iihori, M., Yoshie, S., Yamamoto, T., Sudoh, O., Tsuji, T., & Iijima, K. (2017). Development of a gateway for interoperability in community-based integrated care: An empirical study. *Technology and Health Care*, 26(1), 57-67, doi: 10.3233/THC-170841
 - 22) 土屋瑠見子, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 村山洋史, 西永正典, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2017). 在宅医療推進のための多職種連携研修プログラム開発: 都市近郊地域における短期的効果の検証. *日本公衆衛生学雑誌*, 64 (7), 359-370.
 - 23) Kimura, T., Yoshie, S., Tsuchiya, R., Kawagoe, S., Hirahara, S., Iijima, K., Akahoshi, T., & Tsuji, T. (2017). Cooperation between single-handed and group practices ensures the replacement of gastrostomy tubes and tracheal cannulas in home medical care settings. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*, 241, 189-199.
 - 24) 木全真理, 吉江悟, 後藤純, 井堀幹夫, 飯島勝矢. (2016). 在宅医療・介護連携推進のためのルール構築: 情報共有における合意形成を介した取り組み. *日本在宅医学会雑誌*, 18(1), 11-17.
 - 25) Feng, M., Igarashi, A., Yamamoto-Mitani, N., Noguchi-Watanabe, M., Yoshie, S., & Iijima, K. (2017). Characteristics of care management agencies affect expenditure on home help and day care services: A population-based cross-sectional study in Japan. *Geriatrics & Gerontology International*, doi: 10.1111/ggi.12969
 - 26) Igarashi, A., Yamamoto-Mitani, N., Yoshie, S., & Iijima, K. (2016). Patterns of long-term care services use in a suburban municipality of Japan: A population-based study. *Geriatrics & Gerontology International*, doi: 10.1111/ggi.12781
 - 27) Kimura, T., Yoshie, S., Tsuchiya, R., Kawagoe, S., Hirahara, S., Iijima, K., Akahoshi, T., & Tsuji, T. (2016). Catheter replacement structure in home medical care settings and regional characteristics in Tokyo and three adjoining prefectures. *Geriatrics &*

Gerontology International, doi: 10.1111/ggi.12769

- 28) 木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司. (2015). 在宅医療における医師・訪問看護師による胃瘻交換に関する調査. 日本在宅医学会雑誌, 17(1), 11-19.
- 29) Murayama, H., Arami, R., Wakui, T., Sugawara, I., & Yoshie, S. (2013). Cross-level interaction between individual and neighbourhood socioeconomic status in relation to social trust in a Japanese community. *Urban Studies*, doi: 10.1177/0042098013513648.
- 30) Murayama, H., Wakui, T., Arami, R., Sugawara, I., & Yoshie, S. (2012). Contextual effect of different components of social capital on health in a suburban city of the greater Tokyo area: A multilevel analysis. *Social Science & Medicine*, 75(12), 2472-2480.
- 31) 吉江悟, 栗原直美, 立野麻衣子, 大川潤一, 小山茂孝, 中村真理, 牧野雅美, 水村美穂子. (2011). 居宅介護支援事業所における介護報酬加算の請求留保に関連する要因. 老年社会科学, 33(3), 405-416.
- 32) Murayama, H., Yoshie, S., Sugawara, I., Wakui, T., & Arami, R. (2011). Contextual effect of neighborhood environment on homebound elderly in a Japanese community. *Archives of Gerontology and Geriatrics*, 54(1), 67-71.
- 33) 村山洋史, 菅原育子, 吉江悟, 涌井智子, 荒見玲子. (2011). 一般住民における地域社会への態度尺度の再検討と健康指標との関連. 日本公衆衛生雑誌, 58(5), 350-360.
- 34) 宮田裕章, 大久保豪, 吉江悟, 甲斐一郎. (2011). 社会医学領域における定性的研究の評価基準の活用を検討. 日本衛生学雑誌, 66(1), 83-94.
- 35) 真柄予右子, 木村綾, 齋藤美子, 田上真弓, 吉江悟. (2010). ICU と回復期リハビリテーション病棟の看護業務調査: TNS(Toranomon Nursing System)改訂に向けて. 共済医報, 59(1), 74-78.
- 36) Yoshie, S., Saito, T., Takahashi, M., & Kai, I. (2008). Effect of work environment on care managers' role ambiguity: An exploratory study in Japan. *Care Management Journals*, 9(3), 113-121.
- 37) 吉江悟, 穂積登. (2008). 精神科医・弁護士の間与する介護支援専門員電話相談窓口の試行及びその評価. ケアマネジメント学, 7, 107-119.
- 38) 吉江悟, 白石弘巳. (2007). 認知症治療病棟の運営実態及び在院期間の関連要因. 老年精神医学雑誌, 18(2), 197-207.
- 39) 吉江悟. (2007). 都道府県介護支援専門員相談窓口の運営実態および医師・弁護士による関与. 厚生指標, 54(7), 47-54.
- 40) 吉江悟, 齋藤民, 高橋都, 甲斐一郎. (2006). 介護支援専門員がケースへの対応に関して抱く困難感とその関連要因—12種類のケースタイプを用いて—. 日本公衆衛生雑誌, 53(1), 29-39.
- 41) 大久保豪, 齋藤民, 李賢情, 吉江悟, 和久井君江, 甲斐一郎. (2005). 介護予防事業への男性参加に関連する事業要因の予備的検討. 日本公衆衛生雑誌, 52(12), 1050-1058.
- 42) 吉江悟, 高橋都, 齋藤民, 甲斐一郎. (2004). 同居家族が問題の主体となる高齢者在宅介護の対応困難事例の現状—長野県 A 市の行政保健師へのインタビューから—. 日本公衆衛生雑誌, 51(7), 522-529.

- (3) 雑誌論文(査読無, 解説含む)
- 1) 吉江悟. (2022). (特集: ティール組織への試み)「ビュートゾルフ柏」のチームマネジメント. コミュニティケア, 25(1), 16-19
 - 2) 吉江悟. (2022). 医科レセプトの構造と解析のための Tips を教えてください. 日本在宅ケア学会誌, 26(1), 17-21.
 - 3) 吉江悟. (2022). (特集: コロナ禍の訪問看護事業所・施設で何が起きたか)訪問看護事業所は今後どうあるべきか. コミュニティケア, 24(7), 52-56.
 - 4) 吉江悟. (2022). 在宅ケアに活かすレセプトデータ解析の方向性. 日本在宅ケア学会誌, 25(2), 49-52.
 - 5) 吉江悟. (2021). プライマリ・ケアの理論と実践: 多職種連携の必須知識<訪問看護>—医師と訪問看護の連携で回避可能な入院を減らしたい. 日本医事新報, 5076, 12-13.
 - 6) 吉江悟. (2020). 進むデータの利活用: 市町村保健師によるデータ活用の考え方. 保健師ジャーナル, 76(6), 434-439.
 - 7) 吉江悟. (2020). 日本在宅ケア学会政策提言検討委員会からの発信: 他分野におけるビッグデータの活用例と訪問看護記録の今後の活用法. コミュニティケア, 22(5), 66-69.
 - 8) 福井小紀子, 清崎由美子, 佐藤美穂子, 清水潤一, 長江弘子, 成瀬昂, 藤田淳子, 吉江悟. (2020). 日本在宅ケア学会委員会報告: 在宅ケア分野におけるデータベース構築の必要性和それを具体化するための活動指針の紹介. 日本在宅ケア学会誌, 23(2), 98-103.
 - 9) 吉江悟. (2019). AI (人工知能) によって看護師の仕事が減っていくかもって…本当? Expert Nurse, 35(4), 114-117.
 - 10) 吉江悟, 岩本大希. (2018). 訪問看護実践と成果のつながりを可視化するために—日本語版オマハシステムの開発に向けて: オマハシステムを負担なく効果的に使いこなすために. 訪問看護と介護, 23(5), 360-364.
 - 11) 吉江悟. (2018). 在宅医療・介護連携推進事業: 全面施行直前のいま意識すべきこと. クリニックマガジン, 583, 23-24.
 - 12) 吉江悟. (2017). 地域看護の5つの道具. 福祉介護 TECHNO プラス, 2017.7月号, 2-4.
 - 13) 吉江悟. (2017). 日本におけるビュートゾルフの動向とビュートゾルフ柏が目指すもの. Senior Community, 2017年5-6月号, 16-19.
 - 14) 吉江悟. (2017). 訪問看護実践と成果のつながりを可視化するために—日本語版オマハシステムの開発に向けて: 認知症の方の1人暮らしを支える—インフォーマル・ネットワークを活かして. 訪問看護と介護, 22(3), 230-236.
 - 15) 吉江悟. (2017). 訪問看護実践と成果のつながりを可視化するために—日本語版オマハシステムの開発に向けて: パーキンソン病の方の1人暮らしを支える看護師の思考過程を見える化. 訪問看護と介護, 22(2), 152-158.
 - 16) 吉江悟. (2017). 可能な限り長く住民の生涯に伴走する: ビュートゾルフ柏. 医療と介護 NEXT, 3(1), 28-31.
 - 17) 吉江悟, 長江弘子, 酒井昌子, 片山陽子, 岩本大希, 蒔田麻友子, 藤野泰平. (2016). 在宅ケアの「見える化」に向けて: Omaha System に学ぶ. 日本在宅医学会雑誌, 18(1), 153-154.
 - 18) 松本佳子, 吉江悟, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2016). 在宅医療多職種研修とその広域展開の戦略. Geriatric Medicine, 54(6), 585-589.

- 19) 吉江悟. (2016). 地域の「生涯を通じた伴走役」を担う Neighborhood Care. 訪問看護と介護, 21(5), 352-355
- 20) 吉江悟. (2016). 訪問看護実践と成果のつながりを可視化するために—日本語版オマハシステムの開発に向けて: なぜいま、ケアの見える化が必要か. 訪問看護と介護, 21(4), 313-316.
- 21) 吉江悟. (2015). 在宅療養者やその家族の「選択と心構え」を支える: 地域住民に伴走する意思決定支援の土台づくり. 地域ケアリング, 17(14), 130-133.
- 22) 吉江悟, 松本佳子, 土屋瑠見子, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2015). 在宅医療多職種研修とその効果. カレントセラピー, 30(2), 80-86.
- 23) 梅宮千穂, 吉田みどり, 真貝和江, 石原昌子, 木全真理, 吉江悟. (2014). 市町村が果たす医療・介護提供支援: 柏市の訪問看護支援から. 保健師ジャーナル, 70(11), 966-973.
- 24) 吉江悟, 土屋瑠見子, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2013). 在宅医療を担う人材を「地域」で養成する. 月刊公衆衛生情報, 43(6), 6-7.
- 25) 飯島勝矢, 吉江悟, 辻哲夫. (2013). 加速する高齢化の中で「治し、支える医療」とは: Aging in Place を目指して. 月刊公衆衛生情報, 43(6), 4-5.
- 26) 吉江悟, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2013). 地域包括ケアシステムをどう作るか: 柏市における取り組みの現状と展望. ホスピス・緩和ケア白書 2013, 24-27.
- 27) 吉江悟, 西永正典, 川越正平, 平原佐斗司, 藤田伸輔, 苛原実, 安西順子, 小野沢滋, 大石善也, 鈴木央, 沼田美幸, 片山史絵, 村山洋史, 土屋瑠見子, 木全真理, 柴崎孝二, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2012). 開業医及び多職種を対象とした在宅医療研修の試行及び評価: 千葉県柏市における在宅医療推進の取り組み. 癌と化学療法, 39(Suppl.I), 80-85.
- 28) 飯島勝矢, 吉江悟, 木全真理, 井堀幹夫, 山本拓真, 後藤純, 柴崎孝二, 藤田伸輔, 高林克日己, 鎌田実, 辻哲夫. (2012). 在宅医療推進における円滑な情報共有システムを導入した新たな多職種連携の試み: 千葉県柏市における在宅医療の推進. 癌と化学療法, 39(Suppl.I), 51-54.
- 29) 高林克日己, 藤田伸輔, 西永正典, 後藤純, 吉江悟, 辻哲夫. (2011). 高齢者社会時代に対する在宅医療支援センター構想. 癌と化学療法, 38(Suppl.I), 14-16.
- 30) 吉江悟. (2011). 終末期がん患者の家族が関与する倫理的問題と倫理調整: 代弁および代理決定の側面から. 家族看護, 9(1), 26-33.
- 31) 白石弘巳, 吉江悟. (2006). 認知症治療病棟と精神科救急. 精神科救急, 9, 70-75.

6. 著書

- 1) 吉江悟. (2022). 在宅における新型コロナウイルス感染症対応: 自事業所・利用者・地域を支える. 令和 4 年版看護白書: 訪問看護のさらなる推進. pp169-176. 東京: 日本看護協会出版会.
- 2) 吉江悟. (2022). 世代を超えて近隣住民が集うコミュニティカフェ. In (山崎あけみ, 原礼子編) 看護学テキスト NiCE 家族看護学: 臨床場面と事例から考える 改訂第 3 版. pp133-134. 東京: 南江堂.
- 3) 吉江悟. (2021). 居宅サービス計画と個別サービス計画との関係性. In (日本ケアマネジメント学会編) ケアマネジメント事典. pp124-125. 東京: 中央法規出版.
- 4) 岩本大希, 吉江悟, 黒沢勝彦, 天野博. (2021). 在宅医療・介護現場で働く専門職有志による

- 取り組み: 在宅医療・介護現場支援プロジェクト. In (日本看護協会出版会編集部編) 新型コロナウイルス: ナースたちの現場レポート. pp560-564. 東京: 日本看護協会出版会.
- 5) 吉江悟. (2021). 通いの場や生活支援コーディネーターの機能を活かした地域での看護実践. In (武田裕子編) 格差時代の医療と社会的処方. pp151-162. 東京: 日本看護協会出版会.
 - 6) 吉江悟. (2019). 認知症の人の生活支援につながる地域での新しい取り組みにはどのようなものがありますか? ②. In (深堀浩樹, 酒井郁子, 戸村ひかり, 山川みやえ編) 認知症 plus 退院支援: 一般病棟ナースのための Q&A. pp176-178. 東京: 日本看護協会出版会.
 - 7) 吉江悟. (2018). 在宅医療を支える地域資源. in (川越正平編) 家庭医療学・老年医学・緩和医療学の3領域からアプローチする在宅医療バイブル第2版. pp132-138. 東京: 日本医事新報社.
 - 8) 吉江悟. (2017). ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援. in (白澤政和, 岡田進一, 川越正平, 白木裕子, 福富昌城編) 介護支援専門員現任研修テキスト第3巻: 主任介護支援専門員研修. pp61-86. 東京: 中央法規出版.
 - 9) 吉江悟. (2016). ケアマネジメントの実践における倫理. in (白澤政和, 岡田進一, 川越正平, 白木裕子, 福富昌城編) 介護支援専門員現任研修テキスト第1巻: 専門研修課程 I. pp162-189. 東京: 中央法規出版.
 - 10) 吉江悟. (2016). 個人での学習と介護支援専門員相互間の学習. in (白澤政和, 岡田進一, 川越正平, 白木裕子, 福富昌城編) 介護支援専門員現任研修テキスト第1巻: 専門研修課程 I. pp572-600. 東京: 中央法規出版.
 - 11) 吉江悟. (2016). 地域の多職種を資源としてとらえ、活かす. in (国立長寿医療研究センター編) これからの在宅医療ガイド: 我々は被災地から何を学んだか. pp389-396. 東京: グリーンプレス.
 - 12) 吉江悟. 介護の未来をつくる新リーダーの挑戦 新発想で介護経営イノベーションを実践する挑戦者たち: ビュートゾルフ柏を稼働. 介護経営白書 2016-2017 年度版, pp58-63. 東京: 日本医療企画.
 - 13) 吉江悟, 野口麻衣子. (2015). 終末期を見据えた早期からの効果的な関わりについて教えてください. in (秋下雅弘編) かかりつけ医のための老年病 100 の解決法. pp192-193. 東京: メディカルレビュー社.
 - 14) 吉江悟, 野口麻衣子. (2015). ケアマネジャーとの上手な付き合い方を教えてください. in (秋下雅弘編) かかりつけ医のための老年病 100 の解決法. pp208-209. 東京: メディカルレビュー社.
 - 15) 野口麻衣子, 吉江悟. (2015). 訪問看護師との上手な付き合い方を教えてください. in (秋下雅弘編) かかりつけ医のための老年病 100 の解決法. pp206-207. 東京: メディカルレビュー社.
 - 16) 野口麻衣子, 吉江悟. (2015). 介護保険認定を勧めるタイミングについて教えてください. in (秋下雅弘編) かかりつけ医のための老年病 100 の解決法. pp204-205. 東京: メディカルレビュー社.
 - 17) 吉江悟, 土屋瑠見子. (2014). 多職種連携の土台づくり—2 つの取り組み: 多職種連携研修. in (東京大学高齢社会総合研究機構編) 地域包括ケアのすすめ. pp73-91. 東京: 東京大学出版会.

- 18) 吉江悟. (2014). ケアマネジメントの実際とその意義. in (川越正平編) 家庭医療学・老年医学・緩和医療学の3領域からアプローチする在宅医療バイブル. pp94-100. 東京: 日本医事新報社.
- 19) 吉江悟. (2010). 患者相談窓口の歴史的変遷と現状: なぜ今患者相談が必要とされるのか. in (瀧本禎之, 阿部篤子, 赤林朗編) ケースブック患者相談. pp4-23. 東京: 医学書院.
- 20) 阿部篤子, 榊原章人, 佐藤澄子, 瀧谷早苗, 瀧本禎之, 菫澤尚之, 萩原偉彦, 吉江悟. (2010). ケースで学ぶ患者相談への対応(Case 1~50). in (瀧本禎之, 阿部篤子, 赤林朗編) ケースブック患者相談. pp129-243. 東京: 医学書院. (共同執筆)
- 21) 吉江悟. (2010). 困難事例とは. in (吉江悟監修) ケアマネジメント困難事例集: 支援が困難と感じたときのヒント, pp59-76. 東京: 世田谷区地域福祉部介護保険課(オンライン版掲載 URL: <http://www.city.setagaya.tokyo.jp/030/d00029863.html>).

7. その他メディア掲載等

- 1) 一般社団法人 Vehicle for Nurses. 特別レポート: 訪問看護の「これあったらいいよね」を語り合おう. 訪問看護と介護, 27(5), 392-397.
- 2) 吉江悟, 北村智美, 他. (2021). まちケア探訪記第 3 回. 持続可能で健康な地域は集いの場+訪問看護から!?. 訪問看護と介護, 26(7), 457-463.
- 3) 吉江悟. (2020). [緊急レポート]COVID-19 在宅医療・介護現場支援プロジェクト: 利用者を支えるチームへの感染防御資材供給を目指して. 広報誌オレンジクロス, Vol. 9, 18-19.
- 4) 吉江悟. (2020). COVID-19 在宅医療・介護現場支援プロジェクト: 利用者を支えるチームへの感染防御資材供給を目指して. ほうもん看護, 第 273 号, 2.
- 5) 吉江悟. (2019). 地域を包括的に支え高齢者の持つ「知の財産」を生かす. 月刊シルバー人材センター2019年8月号, 2-5
- 6) 佐賀由彦, 吉江悟. (2018). 特集: どこまでやるの? ケアマネの“業務範囲”. 月刊ケアマネジャー, 20(11), 10-29.
- 7) 吉江悟. (2018). 日本版ビュートゾルフの実際と将来展望. 介護経営白書 2018 年度版, pp173-181. 東京: 日本医療企画.
- 8) 吉江悟. (2018). 特集: 在宅医療・介護連携推進事業を活用した地域づくり. ケアワーク, 2018年3月号, 3-7.
- 9) 吉江悟. (2017). インタビュー: 柏市生活支援コーディネーター. まちづくりと地域支え合い, 12, 6.
- 10) 吉江悟. (2017.1.27). 在宅医療を訪問看護師と研究者の立場で担う. 柏市民新聞, 1737.
- 11) 吉江悟. (2016). オランダの在宅ケア組織ビュートゾルフに学ぶ. 点と線(千葉県社会福祉士会広報誌), 4-5.
- 12) 吉江悟. (2015). 地域単位で介護支援専門員を育てる仕組みの提案: 地域同行型実地研修. 日本ケアマネジメント学会ニューズレター, 25, 5.
- 13) 吉江悟. (2015). 地域包括ケアシステムにおける「本人・家族の選択と心構え」: 薬も「本人の選択」支援通じて質維持したコスト抑制を. ドラッグマガジン, 58(1), 81-83.
- 14) 吉江悟. (2014). 高齢者の「選択と心構え」をいかに支えるか. Dia News, 79, 10-11(オンライン版掲載 URL: http://www.dia.or.jp/disperse/dianews/pdf/dianews_no79.pdf).

- 15) 国立長寿医療研究センター, 東京大学高齢社会総合研究機構, 公益社団法人日本医師会, 厚生労働省. (2013). 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会 研修運営ガイド.
- 16) 吉江悟. (2013). 地域単位で介護支援専門員を育てる仕組みの提案: 短期実習プログラム. 日本ケアマネジメント学会ニューズレター, 23, 5.
- 17) 吉江悟, 飯島勝矢. (2013.1.7). 特集 2025 年の医療と介護: 超高齢社会対応の「助走地点」としての 2013 年. 週刊医学界新聞(オンライン版掲載 URL: http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA03009_02).
- 18) 吉江悟. (2012.3.10). 「地域包括ケアシステム」の実践的取り組み. シルバー産業新聞.
- 19) 吉江悟. (2009.2.20). 意思決定を支援する 5: ミシガンの SW に学ぶ. シルバー新報.
- 20) 吉江悟, 宮田裕章. (2009.1.30). 意思決定を支援する 2: 医療行為の代理決定. シルバー新報.
- 21) 吉江悟, 有森直子. (2009.1.23). 意思決定を支援する 1: 欧米で広がる PDA. シルバー新報.
- 22) 吉江悟. (2005). 介護支援専門員を感じる職務遂行上の困難と支援・研修に関する研究. ふれあいの輪, 19(1), 13-15.

8. 学会発表

- 1) 吉江悟. (2022.11.3). オランダの地域ケア組織ビュートゾルフにおけるチームマネジメント. 第 87 回日本健康学会, 東京. (シンポジウム)
- 2) 孫瑜, 岩上将夫, 小宮山潤, 杉山雄大, 井口竜太, 佐方信夫, 伊藤智子, 吉江悟, 讃岐勝, 久米慶太郎, 松居宏樹, 植嶋大晃, 森由希子, 加藤源太, 田宮菜奈子. (2022.10.7-9). 全国レセプトデータを用いた在宅療養支援診療所の心不全再入院に対する予防効果の検討. 第 81 回日本公衆衛生学会総会, 山梨. (口演)
- 3) 吉江悟. (2022.10.2). 住民・看護師への社会的処方としての通いの場. 日本エンドオブライフケア学会第 5 回学術集会, 東京. (シンポジウム)
- 4) 吉江悟. (2022.7.24). 地域ケアと社会的処方: 住民・看護師への社会的処方としての通いの場. 第 4 回日本在宅医療連合学会大会, 神戸. (シンポジウム)
- 5) 鈴木愛, 金雪瑩, 伊藤智子, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2021.12.21-23). 軽度要介護者における要介護認定調査項目の変化と要介護度重度化に関する記述研究. 第 80 回日本公衆衛生学会総会, 東京. (ポスター)
- 6) 山岡巧弥, 杉山雄大, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2021.12.21-23). 後期高齢者医療費自己負担割合と糖尿病診療の質との関連: レセプトデータを用いた調査. 第 80 回日本公衆衛生学会総会, 東京. (口演)
- 7) 御子柴正光, 平健人, 石丸美穂, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2021.12.21-23). A 自治体の医療・介護レセプトを用いた介護老人福祉施設入居者の歯科受診の実態. 第 80 回日本公衆衛生学会総会, 東京. (ポスター)
- 8) 藤井朋子, 森隆浩, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2021.10.8-10). 後期高齢大腿骨近位部骨折患者の 1 年後の骨粗鬆症に対する薬剤治療の有無に関連する要因の検討: 医療・介護レセプトデータの分析. 第 23 回日本骨粗鬆症学会, 神戸. (口演)
- 9) 長嶺由衣子, 吉江悟, 平原優美, 陣内裕成, 目麻里子, 山本則子, 永田智子. (2021.1.27-29).

- 在宅・介護施設 COVID-19 対応: 感染防護具支援プロジェクトへの応募者の傾向(速報). 第 31 回日本疫学会学術総会, オンライン. (口演)
- 10) 鈴木愛, 金雪瑩, 伊藤智子, 小宮山潤, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2021.1.27-29). 軽度要介護者の認定調査による機能・行動特性と2年間の要介護度重度化の関連. 第 31 回日本疫学会学術総会, オンライン. (口演)
 - 11) 北村智美, 五十嵐歩, 吉江悟, 山本則子. (2020.12.12-13). 訪問看護を利用する高齢 COPD 患者における2年間の入院率と死亡率: 医療介護レセプトデータ分析. 第 40 回日本看護科学学会学術集会, 東京. (口演)
 - 12) 吉江悟, 北村智美, 二宮英樹, 土屋瑠見子, 浜田将太, 松本佳子, 川越雅弘, 福井小紀子, 石崎達郎, 田宮菜奈子, 飯島勝矢. (2020.10.20-22). 要介護高齢者における主観的幸福感ほか各種主観的指標と療養場所との関連. 第 79 回日本公衆衛生学会総会, 京都. (口演)
 - 13) 北村智美, 森田光治良, 吉江悟, 飯島勝矢. (2020.10.20-22). 高齢 COPD 患者における在宅医療・介護サービス利用状況と入院との関連. 第 79 回日本公衆衛生学会総会, 京都. (口演)
 - 14) 田中亜紀子, 神原咲子, 藤野泰平, 吉江悟. (2020.5.31). 地域包括ケアでのプライマリ・ケア看護師の先駆的な役割. 第 11 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 広島. (シンポジウム)
 - 15) 小宮山潤, 岩上将夫, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2020.7.18-19). 高齢の虚血性心疾患術後におけるリハビリテーション実施状況: 心リハ施設基準の有無による検討. 第 26 回心臓リハビリテーション学会学術集会, 福岡. (online)
 - 16) 鈴木俊輝, 岩上将夫, 陣内裕成, 吉江悟, 石崎達郎, 飯島勝矢, 田宮菜奈子. (2020.2.20-22). 新規要介護認定者における主な疾患別の介護状態像. 第 30 回日本疫学会学術総会, 京都. (ポスター)
 - 17) 陣内裕成, 田宮菜奈子, 光武誠吾, 土屋瑠見子, 伊藤智子, 金雪瑩, 山岸良匡, 石崎達郎, 吉江悟, 飯島勝矢. (2020.2.20-22). 高齢者の施設入所利用に影響する生活機能と行動心理症状: 介護保険サービス利用者のコホート内症例対照研究. 第 30 回日本疫学会学術総会, 京都. (口演)
 - 18) 嶋田光希, 浜田将太, 澤野充明, 吉江悟, 飯島勝矢, 宮田裕章. (2020.2.20-22). レセプトデータを活用した高齢者に対する PCI 術前/術後薬物療法の実態調査. 第 30 回日本疫学会学術総会, 京都. (口演)
 - 19) 片山陽子, 岩本大希, 酒井昌子, 藤野泰平, 吉江悟. (2019.12.7-8). オマハシステムの実装で明らかにした訪問看護利用者の疾患群別にみた問題・介入・成果の関連. 第 9 回日本在宅看護学会学術集会, 東京. (ポスター)
 - 20) 北村智美, 森田光治良, 城大祐, 吉江悟. (2019.11.11-12). 高齢 COPD 患者の呼吸リハビリテーションに関わるサービス利用実態: 医療介護レセプトデータを用いた後方視的研究. 第 29 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会, 名古屋. (口演)
 - 21) 吉江悟, 二宮英樹, 北村智美, 宮城禎弥, 浜田将太, 森隆浩, 金雪瑩, 岩上将夫, 安富元彦, 松本佳子, 川越雅弘, 福井小紀子, 石崎達郎, 田宮菜奈子, 飯島勝矢. (2019.10.23-25). 介護保険利用後期高齢者の Ambulatory Care-Sensitive Conditions と療養場所との関連. 第 78 回日本公衆衛生学会総会, 高知. (口演)
 - 22) 飯島勝矢, 吉江悟, 二宮英樹, 佐々木健佑, 宮城禎弥, 浜田将太, 森隆浩, 金雪瑩, 岩上将夫,

- 安富元彦, 松本佳子, 川越雅弘, 福井小紀子, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2019.10.23-25). 医療・介護レセプトを用いた療養場所の集計手法の検討. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知. (口演)
- 23) 松本佳子, 吉田真季, 吉江悟, 埴岡健一, 川越雅弘. (2019.10.23-25). 47都道府県の第7次医療計画「在宅医療」分野の策定状況と中間見直しに向けた検討. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知. (ポスター)
- 24) 小宮山潤, 岩上将夫, 森隆浩, 植嶋大晃, 金雪瑩, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2019.10.23-25). 高齢の心臓リハビリテーション対象者の特性: 医療・介護保険レセプトによる検討. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知. (口演)
- 25) 鈴木俊輝, 岩上将夫, 浜田将太, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2019.10.23-25). 特別養護老人ホーム入所前後における処方薬剤数および処方内容の変化. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知. (ポスター)
- 26) 鈴木守, 岩上将夫, 吉江悟, 石崎達郎, 飯島勝矢, 田宮菜奈子. (2019.10.23-25). 小規模多機能型介護事業所と通所介護事業所を利用する人々の施設入所までの期間の比較. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知. (口演)
- 27) 孫瑜, 岩上将夫, 植嶋大晃, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2019.10.23-25). 在宅医療を受ける後期高齢者における訪問診療利用と関連する疾患. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知. (口演)
- 28) 平健人, 森隆浩, 岩上将夫, 渡邊多永子, 金雪瑩, 吉江悟, 飯島勝矢, 石崎達郎, 田宮菜奈子. (2019.10.23-25). 医科歯科・介護突合レセプト分析による居宅/施設別要介護者の訪問歯科受療状況の検討. 第78回日本公衆衛生学会総会, 高知. (ポスター)
- 29) Mitsutake, S., Ishizaki, T., Tsuchiya-Ito, R., Uda, K., Ueshima, H., Matsuda, T., Jinnouchi, H., Yoshie, S., Iijima, K., & Tamiya, N. (2019.10.23-27). Associations of rehabilitation of long term care with care-need level deterioration at twelve months after discharge in Japan. The 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia & Oceania Regional Congress, Taipei. (ポスター)
- 30) 酒井昌子, 片山陽子, 岩本大希, 藤野泰平, 吉江悟, 長江弘子. (2019.9.16). オマハシステムを活用しエンドオブライフケアを「見える化」しよう: 事例展開とIT化した日本語版オマハシステムを用いた実践の紹介. 日本エンドオブライフケア学会第3回学術集会, 名古屋. (交流集会)
- 31) 岩上将夫, 鈴木守, 安富元彦, 飯島勝矢, 吉江悟, 田宮菜奈子. (2019.1.31-2019.2.1). 新規の要介護認定に関連する背景疾患: 医療・介護レセプト連結データを用いたケース・コントロール研究. 第29回日本疫学会学術総会, 東京. (ポスター)
- 32) Jinnouchi, H., Tamiya, N., Ueshima, H., Kawada, T., Iijima, K., Yoshie, S., & Ishizaki, T. (2018.11.14-18). Interactional impact of dementia and locomotive function on heavier care burden among the Japanese elderly. The Gerontological Society of America 2018 Annual Scientific Meeting, Boston. (ポスター)
- 33) Adomi, M., Iwagami, M., Kawahara, T., Hamada, S., Iijima, K., Yoshie, S., Ishizaki, T., & Tamiya, N. (2018.9.29-30). Long-term urinary catheterization and urinary tract infection among older people in the community. The Society for Clinical Epidemiology

- The 2nd Annual Meeting, Kyoto. (ポスター)
- 34) Mori, T, Hamada, S., Yoshie, S., & Tamiya, N. (2018.9.29-30). The association of baseline comorbidity with the sum of healthcare and long-term care expenditures for 12 months using claims data. The Society for Clinical Epidemiology The 2nd Annual Meeting, Kyoto. (ポスター)
- 35) 酒井昌子, 片山陽子, 岩本大希, 藤野泰平, 吉江悟, 長江弘子. (2018.9.16). 日本語版オマハシステムの地域看護過程を学ぶ基礎教育への活用: オマハシステム日本版の開発からの提案. 日本エンドオブライフケア学会第2回学術集会, 東京. (交流集会)
- 36) 餅田敬司, 藤野泰平, 吉江悟, 湯原淳平. (2018.8.24-25). 多様化する看護師の働き方: これからの看護を実現する. 第22回日本看護管理学会学術集会, 神戸. (交流集会)
- 37) Mori, T., Takahashi, H., Hamada, S., Yoshie, S., & Tamiya, N. (2018.7.7). The association of comorbidity with healthcare expenditures using claims data in Japan. 第33回日本国際保健医療学会東日本地方会, つくば. (口演)
- 38) Kuroda, N., Hamada, S., Sakata, N., Jeon, B., Iijima, K., Yoshie, S., Ishizaki, T., & Tamiya, N. (2018.7.7). Antipsychotics use among people with dementia aged 75 years or older in Japan: a new population-based estimation based on medical and long-term care data. 第33回日本国際保健医療学会東日本地方会, つくば. (口演)
- 39) 森隆浩, 田宮菜奈子, 吉江悟, 高橋秀人, 浜田将太, 飯島勝矢, 石崎達郎. (2018.6.14-16). 介護保険給付額と併存疾患の関係: 関東地方のA市における介護・医療保険レセプトデータ解析から. 第60回日本老年医学会学術集会, 京都. (ポスター)
- 40) 牧野和子, 吉江悟, 南雲健吾, 牧野雅美, 横山裕子, 千葉明子. (2018.1.20). 「三方よし」のケアマネジメントの実現に向けた調査研究. 第16回神奈川県介護支援専門員研究大会, 横浜. (口演)
- 41) 松本佳子, 吉江悟, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2017.10.31-11.2). 在宅医療・介護連携推進担当者の地域支援事業との連動: タイムスタディによる検討. 第76回日本公衆衛生学会総会, 鹿児島. (ポスター)
- 42) Hamada, S., Takahashi, H., Sakata, N., Jeon, B., Iijima, K., Yoshie, S., Ishizaki, T., and Tamiya, N. (2017.9.25-27). Household income and medical and long-term care services use in older people in Japan: a cohort study using administrative data. 5th International Conference on Global Aging Tsukuba, Tsukuba. (口演)
- 43) 松本佳子, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2017.9.17-18). 在宅医療推進のための多職種連携研修会受講後の在宅医療への参入状況と連携活動の長期的変化. 第28回日本在宅医療学会学術集会, 東京. (口演)
- 44) Jeon, B., Tamiya, N., Yoshie, S., Iijima, K., & Ishizaki, T. (2017.9.2). Prevalence and costs of potentially avoidable hospitalizations among long-term care facility residents. The 12th Annual Meeting of Japan Health Economics Association, Yokohama. (口演)
- 45) 吉江悟. (2017.9.9). ビュートゾルフ柏が取り組む地域看護. 千葉看護学会第23回学術集会, 千葉. (パネルディスカッション)
- 46) 餅田敬司, 藤野泰平, 吉江悟. (2017.8.19-20). 看護が果たす貢献とは何か: 社会が求める看護と働き方を考える. 第21回日本看護管理学会学術集会, 横浜. (交流集会)

- 47) Noguchi-Watanabe, M., Sakurai, K., Matsumoto, Y., Furuta, T., Matsukura, A., Shikano, A., Yoshie, S., & Yamamoto-Mitani, N. (2017.7.23-27). Effectiveness of a workshop for homecare providers to promote interprofessional collaboration in Japan: A quasi-experimental study. The 21st International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress, San Francisco. (口演)
- 48) Yamanaka, T., Hirota, Y., Oda, A., Furuta, T., Yoshie, S., Matsumoto, Y., Iijima, K., & Akishita, M. (2017.7.26). Factors related to QOL and Well-Being of the elderly who need home care and their caregivers. The 21st International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress, San Francisco. (ポスター)
- 49) 吉江悟, 南雲健吾, 牧野和子, 牧野雅美, 横山裕子, 千葉明子. (2017.6.24). 「三方よし」のケアマネジメントの実現に向けた調査研究. 東京都介護支援専門員研究協議会第9回研究大会, 東京. (口演)
- 50) 木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2017.6.17-18). 在宅医療における胃瘻・気管カニューレ交換における、医師一人の診療所とグループ診療の診療所の役割分担について議論すべきである. 第19回日本在宅医学会大会, 東京. (ポスター)
- 51) 野口麻衣子, 成瀬昂, 吉江悟, 山本則子, 山岸暁美. (2016.12.10-11). 訪問看護師の就業継続意向と同僚間の関係性及び情報共有に費やす時間との関係の検証. 第36回日本看護科学学会学術集会, 東京. (口演)
- 52) Ota, S., Kudo, K., Taguchi, K., Ihori, M., Yoshie, S., Yamamoto, T., Sudo, O., Tsuji, T., & Iijima, K. (2016.11.17). Interoperable information system in community-based integrated care: a case study. 17th China-Japan-Korea Joint Symposium on Medical Informatics, Yokohama. (シンポジウム)
- 53) 吉江悟, 松本佳子, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2016.10.26-28). 在宅医療多職種連携研修会受講者の反応、意識、連携活動の変化: 開催日数別の検討. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪. (ポスター)
- 54) 松本佳子, 吉江悟, 稲荷田修一, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2016.10.26-28). 在宅医療・介護連携推進担当者の医療・介護職種との関係構築: タイムスタディによる検討. 第75回日本公衆衛生学会総会, 大阪. (ポスター)
- 55) Mori, T., Tamiya, N., Jeon, B., Xueying, J., Yoshie, S., & Ishizaki, T. (2016.9.19). Estimated expenditures of hip fractures using claims data including both medical and long-term care. 4th International Conference on Global Aging Tsukuba, Tsukuba. (口演)
- 56) Jeon, B., Tamiya, N., Jin, X., Yoshie, S., & Ishizaki, T. (2016.9.19). Does the “discharge conference” have impact on the length of stay in community among older adults?: Evidence from a suburban city in Japan. 4th International Conference on Global Aging Tsukuba, Tsukuba. (口演)
- 57) 餅田敬司, 藤野泰平, 吉江悟. (2016.8.21). 看護が未来に果たす貢献とは何か: 看護のイノベーションを考える～パラレルキャリアとプロボノへの準備はじめませんか～. 日本看護研究学会第42回学術集会. (交流集会)
- 58) 吉江悟, 松本佳子. (2016.8.20). 多職種研修を入口にした地域単位の在宅医療・介護連携推

- 進. 第 20 回日本看護管理学会学術集会, 横浜. (ミニシンポジウム)
- 59) 吉江悟, 木村琢磨, 野口麻衣子, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫, 秋下雅弘. (2016.7.16-17). 夜間休日におけるファーストコール対応機関と患者・家族の安心感・満足感、医師や看護師のジョブ・コントロールとの関連. 第 18 回日本在宅医学会大会, 東京. (口演)
- 60) 木村琢磨, 吉江悟, 野口麻衣子, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫, 秋下雅弘. (2016.7.16-17). 在宅医療を担う診療所における夜間休日臨時対応の実態. 第 18 回日本在宅医学会大会, 東京. (ポスター)
- 61) 松本佳子, 吉江悟, 土屋留見子, 川越正平, 平原佐斗司, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2016.7.16-17). 在宅医療多職種連携研修会受講者の在宅医療への意識および連携活動の変化: 職種別の検討. 第 18 回日本在宅医学会大会, 東京. (ポスター)
- 62) 山中崇, 弘田義人, 吉江悟, 松本佳子, 織田暁寿, 古田達之, 飯島勝矢, 秋下雅弘. (2016.7.16-17). 在宅療養者および主介護者の QOL, Well-being に関係する因子についての検討. 第 18 回日本在宅医学会大会, 東京. (ポスター)
- 63) 松本佳子, 吉江悟, 稲荷田修一, 野口麻衣子, 太田沙紀子, 御子柴直子, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2016.6.4). 在宅医療・介護連携推進事業担当者の業務内容・役割—タイムスタディによる検討. 第 27 回日本在宅医療学会学術集会, 横浜. (口演)
- 64) Feng, M., Igarashi, A., Yamamoto-Mitani, N., Noguchi-Watanabe, M., Yoshie, S., & Iijima, K. (2016.5.19-21). Care Management Agency Affects the Service Cost of Home Help and Day Care: A Population-based Study in Japan. American Geriatric Society 2016 Annual Scientific Meeting, California. (ポスター)
- 65) 野口麻衣子, 吉江悟, 梅宮千穂, 石原昌子, 山中崇. (2015.11.22). 訪問看護師による病院看護師向けの地域連携セミナーの開催とその効果. 第 5 回日本在宅看護学会学術集会, 東京. (口演)
- 66) 吉江悟, 野口麻衣子, 成瀬昂, 山中崇, 飯島勝矢, 山本則子. (2015.11.22). 在宅療養者に対する夜間休日臨時対応体制に関する取り決めの実態: 訪問看護師と診療所医師の認識の比較. 第 5 回日本在宅看護学会学術集会, 東京. (口演)
- 67) Matsumoto, Y., Yoshie, S., Tsuchiya, R., Kawagoe, S., Hirahara, S., Yamanaka, T., Iijima, K., & Tsuji, T. (2015.11.18-22). Development of Homecare Interdisciplinary Team Training Program for health care professionals in Japan: Evaluation of the effects of one year after the program. The Gerontological Society of America 68th Annual Scientific Meeting, Orlando. (ポスター)
- 68) 吉江悟, 稲荷田修一, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2015.11.4-6). ヘルスサービスリサーチの観点からみた柏市の在宅医療推進. 第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎. (シンポジウム)
- 69) 飯島勝矢, 吉江悟, 松本佳子, 土屋留見子, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 山中崇, 辻哲夫. (2015.11.4-6). 「在宅医療推進のための多職種連携研修会」受講者の反応および意識・知識・実践の変化. 第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎. (ポスター)
- 70) 松本佳子, 吉江悟, 土屋留見子, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2015.11.4-6). 「在宅医療推進のための多職種連携研修会」受講者の職種間連携活動の変化. 第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎. (ポスター)
- 71) 吉江悟, 松本佳子, 土屋留見子, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫.

- 夫. (2015.11.4-6). 「在宅医療推進のための多職種連携研修会」開業医の受講1年後の診療報酬算定状況. 第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎. (ポスター)
- 72) Shirasawa, M., Hata, R., Masuda, K., Yoshie, S., Kishida, K., Tanno, K., Shiraki, H., Takasuna, H., Yamada, K., Yonezawa, A., & Takase, Y. (2015.10.23). Factors associated with the confidence of frail elderly patients to live at home. The Asia and Pacific Association for Social Work Education 23th Regional Conference 2015, Bangkok. (ポスター)
- 73) Noguchi-Watanabe, M., Yamanaka, T., Sakurai, K., Tamai, A., Tsuchiya, R., Hirano, H., Yoshie, S., Matsumoto, Y., Iijima, K., & Akishita, M. (2015.10.19-22). A review of home care in Asia. The 10th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia & Oceania Regional Congress, Chiang Mai. (ポスター)
- 74) Kimata, M., Iijima, K., Yoshie, S., Goto, J., & Tsuji, T. (2015.10.19-22). Clarifying information exchange between multidisciplinary healthcare providers in the home medical and nursing care setting. The 10th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia & Oceania Regional Congress, Chiang Mai. (ポスター)
- 75) Shirasawa, M., Hata, R., Masuda, K., Yoshie, S., Kishida, K., Tanno, K., Shiraki, H., Takasuna, H., Yamada, K., Yonezawa, A., & Takase, Y. (2015.10.19-22). A study of the factors that influence changes in the admission to facilities of frail elderly patients who use Long-Term Care Insurance services. The 10th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia & Oceania Regional Congress, Chiang Mai. (ポスター)
- 76) Ota, S., Kudo, K., Ihori, M., Yamamoto, T., Yoshie, S., Iijima, K., Tsuji, T., & Sudo, O. (2015.9.6-10). Enhance inter-professional work on community care with a digital-enabled infrastructure. HIMSS AsiaPac 15, Singapore. (ポスター)
- 77) Arimori, N., Inaba, K., Horiuchi, S., Setoyama, Y., & Yoshie, S. (2015.7.19-21). Development of a SDM educational program for nursing professionals: With focus on the Japanese version of Ottawa Personal Decision-Making Guide. ISDM(the International Shared Decision-Making)-ISEHC(International Society for Evidence Based Health Care) Conference, Sydney. (ポスター)
- 78) 水木麻衣子, 吉江悟. (2015.7.19-20). 地域の医療コーディネーション機能向上のための取り組み: 豊島区在宅医療コーディネーター養成講座. 第26回日本在宅医療学会学術集会, 東京. (口演)
- 79) 木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2015.6.13-14). 在宅医療における医師・訪問看護師による胃腸交換の実態調査. 第6回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, つくば. (口演)
- 80) 吉江悟, 南雲健吾, 石山麗子, 小島操, 高岡里佳, 牧野和子, 牧野雅美, 千葉明子. (2015.6.12-14). 職能団体と研究者が連携して取り組む枠組みの構築を通じたケアマネジメント研究の推進. 日本ケアマネジメント学会第14回研究大会, 横浜. (口演)
- 81) 野口麻衣子, 櫻井桂子, 吉江悟, 古田達之, 松倉聡, 鹿野史子, 吉田みどり, 飯島勝矢, 山中崇, 辻哲夫. (2015.6.12-14). 「地域の医療・介護従事者の顔の見える関係づくりを目指した研修会」の効果検証: 医療・介護従事者に対する信頼. 日本老年看護学会第20回学術集会,

- 横浜. (ポスター)
- 82) 櫻井桂子, 野口麻衣子, 吉江悟, 古田達之, 飯島勝矢, 山中崇. (2015.6.12-14). 「在宅医療・介護従事者の顔の見える関係づくりを目指した研修会」の効果検証. 第57回日本老年医学会学術集会, 横浜. (ポスター)
- 83) 土屋瑠見子, 吉江悟, 飯島勝矢, 山中崇. (2015.6.14). 訪問リハビリテーションサービス提供者における共感的態度: 臨床経験と勤務状況に着目した探索的研究. 第57回日本老年医学会学術集会, 横浜. (ポスター)
- 84) 五十嵐歩, 吉江悟, 飯島勝矢, 山本則子. (2015.6.12-14). 首都圏における介護保険サービス利用の類型化: 代表的な地域における population-based cross-sectional study. 第57回日本老年医学会学術集会, 横浜. (ポスター)
- 85) 吉江悟, 土屋瑠見子, 野口麻衣子, 小林唯浩, 松本直樹, 辻哲夫. (2015.4.25-26). 後期高齢者における在宅患者訪問診療料算定状況と要介護度等との関連. 第17回日本在宅医学会大会, 盛岡. (口演)
- 86) 木村琢磨, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢, 山中崇. (2015.4.25-26). 訪問診療におけるカテーテル交換処置の実施状況と地域特性との関連. 第17回日本在宅医学会大会, 盛岡. (口演)
- 87) 平野央, 吉江悟, 木村琢磨, 野口麻衣子, 川越正平, 平原佐斗司. (2015.4.25-26). 訪問看護におけるカテーテル交換処置の実施状況と地域特性との関連. 第17回日本在宅医学会大会, 盛岡. (ポスター)
- 88) 辻哲夫, 飯島勝矢, 吉江悟. (2015.4.11-13). 医療システムのパラダイム転換の戦略: 柏プロジェクトから何を学ぶのか. 第29回医学会総会 2015, 京都. (シンポジウム)
- 89) 土屋瑠見子, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 村山洋史, 西永正典, 成瀬昂, 永田智子, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2014.11.29-30). 開業医・他職種との協働に対する意識と在宅医療への自信との関連: 在宅医療推進多職種連携研修会参加者における検討. 第19回日本在宅ケア学会学術集会, 福岡. (ポスター)
- 90) Tsuchiya, R., Okada, H., Yoshie, S., Nishida, K., Watanabe, Y., Hatano, D., Inamasu, Y., Hasegawa, T., Kamon, K., Kinokuni, R., Suzuki, K., Kanai, T., Takahara, T., Kuzumi, A., Hashimoto, N., Ogawa, K., Endo, K., Matsumoto, N., Kobayashi, T., Shikano, F., Yamanaka, T., & Iijima, K. (2014.11.15-16). The difficulties faced by the long-term care managers in planning home-visit rehabilitation in Kashiwa city under the Comprehensive Special Zones: a qualitative study. Korea-Japan 2nd Joint Conference for the partnership between KPTA and JPTA, Busan. (ポスター)
- 91) Hata, R., Shirasawa, M., Masuda, K., Takasuna, H., Takase, Y., Yoshie, S. (2014.11.5-9). The influence of dementia and stroke on the changes of condition of the frail elderly live at home. The Gerontological Society of America 67th Annual Scientific Meeting, Washington, DC. (ポスター)
- 92) 吉江悟, 土屋瑠見子, 飯島勝矢, 辻哲夫, 三浦久幸, 鳥羽研二, 大島伸一. (2014.11.6). 地域における在宅医療介護連携推進のための多職種研修会の普及に向けた汎用構造の検討. 第73回日本公衆衛生学会総会, 宇都宮. (ポスター)
- 93) 吉江悟, 白木裕子, 奥田亜由子, 山田圭子, 辻敏子, 大岡裕子, 米澤麻子, 福富昌城, 白澤政

- 和, 前沢政次. (2014.7.20). 介護支援専門員を対象とした短期実習プログラムの教育効果: 全国 10 地域の 1 年後フォローアップ調査の結果から. 日本ケアマネジメント学会第 13 回研究大会, 燕三条. (口演)
- 94) 畑亮輔, 白澤政和, 増田和高, 米澤麻子, 白木裕子, 山田圭子, 丹野克子, 吉江悟, 高砂裕子. (2014.7.20). ケアマネジメント実践による要介護者等の状況変化の分析: 要介護者等に対するケアマネジメント開始から 4 年間の縦断調査を基に. 日本ケアマネジメント学会第 13 回研究大会, 燕三条. (口演)
- 95) 増田和高, 畑亮輔, 白木裕子, 山田圭子, 高砂裕子, 吉江悟, 丹野克子, 米澤麻子, 白澤政和. (2014.7.20). 介護保険利用者の生活状態に対する「利用者本人の評価」と「介護支援専門員の評価」の一致度に関する研究. 日本ケアマネジメント学会第 13 回研究大会, 燕三条. (口演)
- 96) 飯島勝矢, 土屋瑠見子, 吉江悟, 大西弘高, 孫大輔, 玉井杏奈. (2014.7.18-19). 大学ー地域間連携の基盤を踏まえた地域医療における多職種協働での参加型医学教育の取り組み. 第 46 回日本医学教育学会大会, 和歌山. (口演)
- 97) 吉江悟, 土屋瑠見子, 飯島勝矢, 三浦久幸, 鳥羽研二, 大島伸一. (2014.6.12-14). 在宅医療多職種連携研修会: 研修運営ガイドの作成と普及. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 福岡. (ポスター)
- 98) 飯島勝矢, 吉江悟, 土屋瑠見子. (2014.6.12-14). ジェロントロジー(老年学)から「い・しょく・じゅう」を考える: 柏モデルを通じての超高齢社会への挑戦. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 福岡. (口演)
- 99) 飯島勝矢, 土屋瑠見子, 吉江悟, 大西弘高. (2014.6.12-14). 大学ー地域間連携を基盤とした在宅医療・地域医療への参加型医学教育の先進的取り組み. 第 56 回日本老年医学会学術集会, 福岡. (口演)
- 100) 吉江悟, 瀧本禎之. (2014.6.7). 有料老人ホームにおける看取りの実態とその関連要因: 医療体制の充実と看取り率は有意な関連を有しない. 第 56 回日本老年社会学会大会, 下呂. (ポスター)
- 101) 吉江悟, 木村琢磨, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢. (2014.3.1-2). 訪問診療・訪問看護における医療処置に必要な材料の調達に関する実態調査. 第 16 回日本在宅医学会大会, 浜松. (ポスター)
- 102) 吉江悟, 木村琢磨, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢. (2014.3.1-2). 訪問診療・訪問看護における尿道カテーテルの交換に関する実態調査. 第 16 回日本在宅医学会大会, 浜松. (ポスター)
- 103) 木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢. (2014.3.1-2). 訪問診療・訪問看護における胃瘻チューブの交換に関する実態調査. 第 16 回日本在宅医学会大会, 浜松. (口演)
- 104) 木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢. (2014.3.1-2). 訪問診療・訪問看護における経鼻胃管の交換に関する実態調査. 第 16 回日本在宅医学会大会, 浜松. (ポスター)
- 105) 土屋瑠見子, 木村琢磨, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢. (2014.3.1-2). 訪問診療・訪問看護における気管カニューレの交換に関する実態調査. 第 16 回日本在宅医学会

- 大会, 浜松. (ポスター)
- 106) 木全真理, 飯島勝矢, 吉江悟, 後藤純, 井堀幹夫, 辻哲夫. (2014.3.1-2). ケーススタディから創出された多職種連携ルールづくりによるネットワーク構築. 第16回日本在宅医学会大会, 浜松. (口演)
- 107) Shirasawa, M., Hata, R., Yoshie, S., Masuda, K., Tanno, K., Kishida, K., Takase, Y., & Yamada, K. (2013.11.22). The degree of consensus between users and case managers in grasping the user's situation over time. The Gerontological Society of America 66th Annual Scientific Meeting, New Orleans. (ポスター)
- 108) Murayama, H., Wakui, T., Arami, R., Sugawara, I., & Yoshie, S. (2013.11.2-6). Does district-level social capital have a beneficial effect on self-rated health?: a study in a suburban city in the greater tokyo area. The American Public Health Association 141st Annual Meeting, Boston. (口演)
- 109) 吉江悟, 瀧本禎之, 榊原章人. (2013.9.27-28). 本邦における病院患者相談窓口の設置実態と担当者が感じる葛藤. 第51回日本医療・病院管理学会学術総会, 京都. (ポスター)
- 110) Iijima, K., Yoshie, S., Kimata, M., Ihori, M., Yamamoto, T., Goto, J., Fujita, S., Takabayashi, K., Kamata, M., & Tsuji, T. (2013.6.25). New attempt to achieve seamless multidisciplinary cooperation using information and communication technology (ICT) in aggressive promotion of home medical care in Japan. The 20th International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress, Seoul. (ポスター)
- 111) Masuda, K., Shirasawa, M., Hata, R., Yoshie, S., Shiraki, H., Yamada, K., Takasuna, H., Yonezawa, A., Kishida, K., Takase, Y., & Tanno, K. (2013.6.25). User attributes that influence the degradation of QOL of the elderly long-term care insurance users. The 20th International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress, Seoul. (ポスター)
- 112) Hata, R., Shirasawa, M., Masuda, K., Yoshie, S., Shiraki, H., Yamada, K., Takasuna, H., Yonezawa, A., Kishida, K., Takase, Y., & Tanno, K. (2013.6.25). Influence of dementia on changes of condition of the elderly who require everyday life assistance. The 20th International Association of Gerontology and Geriatrics World Congress, Seoul. (ポスター)
- 113) 吉江悟, 白木裕子, 白澤政和, 野中猛, 前沢政次. (2013.6.4-6). 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての実習型研修の経験と普及に向けた提案. 日本ケアマネジメント学会第12回研究大会, 大阪. (口演)
- 114) 畑亮輔, 白澤政和, 吉江悟, 増田和高, 山田圭子, 高砂裕子, 白木裕子, 丹野克子, 米澤麻子. (2013.6.4-6). ケアマネジメント実践による要介護者等の状況変化の分析: 縦断的調査結果をもとに. 日本ケアマネジメント学会第12回研究大会, 大阪. (ポスター)
- 115) 増田和高, 畑亮輔, 吉江悟, 白澤政和, 丹野克子, 白木裕子, 山田圭子, 高砂裕子, 米澤麻子. (2013.6.4-6). 介護支援専門員の捉える利用者の在宅生活に対する自信とその関連要因: 介護支援専門員に対するパネル調査の結果をもとに. 日本ケアマネジメント学会第12回研究大会, 大阪. (口演)
- 116) 米澤麻子, 白澤政和, 畑亮輔, 吉江悟, 増田和高, 山田圭子, 高砂裕子, 白木裕子, 丹

- 野克子. (2013.6.4-6). ケアマネジャーが捉える要介護高齢者等の状況変化の分析: 縦断的調査結果をもとに. 日本ケアマネジメント学会第12回研究大会, 大阪. (口演)
- 117) 飯島勝矢, 吉江悟. (2013.6.4-6). ジェロントロジー (老年学) から考える在宅医療推進: 柏モデルを通じて「Aging in Place」達成へ. 第55回日本老年医学会学術集会, 大阪. (口演)
- 118) 吉江悟, 土屋瑠見子, 西永正典, 川越正平, 平原佐斗司, 藤田伸輔, 大西弘高, 多職種連携プログラム作成委員会, 村山洋史, 木全真理, 柴崎孝二, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2013.3.30-31). 市町村単位の在宅医療多職種連携研修会を受講した開業医の意識変化: 8.0日版と2.5日版の比較を含めた検討. 第15回日本在宅医学会大会, 松山. (口演)
- 119) 土屋瑠見子, 吉江悟, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 多職種連携プログラム作成委員会, 村山洋史, 木全真理, 柴崎孝二, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2013.3.30-31). 市町村単位の在宅医療多職種連携研修会を受講した多職種の意識変化. 第15回日本在宅医学会大会, 松山. (口演)
- 120) 飯島勝矢, 吉江悟, 木全真理, 後藤純, 井堀幹夫, 山本拓真, 久保真人, 平江良成, 鎌田実, 辻哲夫. (2013.3.30-31). Aging in Place を目指した在宅医療推進: 千葉県・柏モデルにおいて市町村行政・地区医師会と一緒に推し進める中での大学の役割と意義. 第15回日本在宅医学会大会, 松山. (口演)
- 121) 久保真人, 飯島勝矢, 木全真理, 吉江悟, 後藤純, 井堀幹夫, 山本拓真, 平江良成, 藤田伸輔, 高林克日己, 鎌田実, 辻哲夫. (2013.3.30-31). 主治医-副主治医制による在宅診療のバックアップシステムの構築: 千葉県柏市における在宅医療推進の新たな取り組み. 第15回日本在宅医学会大会, 松山. (口演)
- 122) 木全真理, 飯島勝矢, 吉江悟, 後藤純, 井堀幹夫, 山本拓真, 久保真人, 平江良成, 高林克日己, 鎌田実, 辻哲夫. (2013.3.30-31). 多職種連携間での共有すべき情報の検証における自己評価の有用性: 千葉県柏市における在宅医療推進の取り組みから見えてきたこと. 第15回日本在宅医学会大会, 松山. (口演)
- 123) Takimoto, Y., Yoshie, S., Yoshiuchi, K., & Akabayashi, A. (2013.3.15). The psychological impact of deathwatch on staffs in Japanese fee-charging nursing homes. American Psychosomatic Society 71st Annual Scientific Meeting, Miami. (ポスター)
- 124) Shirasawa, M., Yoshie, S., Hata, D., Shiraki, H., Yamada, K., Takasuna, H., Yonezawa, A., & Masuda, K. (2012.11.16). Evaluation by clients and case managers on changes of QOL indicators in the frail elderly during one-year case management. The Gerontological Society of America 65th Annual Scientific Meeting, San Diego. (ポスター)
- 125) 吉江悟, 白木裕子, 岡田進一, 奥田亜由子, 奥田龍人, 神谷良子, 高砂裕子, 羽石芳恵, 福富昌城, 山田圭子, 野中猛, 白澤政和, 前沢政次. (2012.7.15). 介護支援専門員を対象とした短期実習プログラムの試行と提案. 日本ケアマネジメント学会第11回研究大会, 広島. (口演)
- 126) 牧野雅美, 石山麗子, 栗原直美, 立野麻衣子, 吉江悟. (2012.7.15). 介護支援専門員の業務範囲はどこまで?: アンケート調査の結果から. 日本ケアマネジメント学会第11回研究大会, 広島. (ポスター)
- 127) 石山麗子, 栗原直美, 立野麻衣子, 吉江悟. (2012.7.15). 介護支援専門員の職能団体の

- 役割に関する考察: 入会・未入会者・退会者の職能団体に対する意向の実態調査より. 日本ケアマネジメント学会第 11 回研究大会, 広島. (口演)
- 128) 飯島勝矢, 吉江悟, 木全真理, 井堀幹夫, 山本拓真, 後藤純, 柴崎孝二, 藤田伸輔, 高林克日己, 鎌田実, 辻哲夫. (2012.6.30). 在宅医療推進における円滑な情報共有システムを導入した新たな多職種連携の試み: 千葉県柏市における在宅医療の推進. 第 23 回日本在宅医療学会学術集会, 横浜. (口演)
- 129) 吉江悟, 西永正典, 川越正平, 平原佐斗司, 藤田伸輔, 多職種連携プログラム作成委員会, 村山洋史, 土屋瑠見子, 木全真理, 柴崎孝二, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2012.6.30). 開業医及び多職種を対象とした在宅医療研修の試行及び評価: 千葉県柏市における在宅医療推進の取り組み. 第 23 回日本在宅医療学会学術集会, 横浜. (口演)
- 130) 栗原直美, 石山麗子, 柴田早智子, 立野麻衣子, 吉江悟. (2012.6.30). 東京都介護支援専門員研究協議会(CMAT)への会員、未入会、退会者の意識調査報告. 東京都介護支援専門員研究協議会第 4 回研究大会, 東京. (口演)
- 131) Shirasawa, M., Yoshie, S., Okada, S., Fukutomi, M., Kishida, K., Hata, C., Shiraki, H., Takasuna, H. (2011.11.18-22). A degree of agreement on evaluation of users' QOL change by case managers and users and a possibility on externalization of case management evaluation. The Gerontological Society of America 64th Annual Scientific Meeting, Boston. (ポスター)
- 132) 水木麻衣子, 吉江悟. (2011.10.21). 地域医療連携における調整者の役割と課題. 第 70 回日本公衆衛生学会総会, 秋田. (ポスター)
- 133) 畑智恵美, 岡田進一, 吉江悟, 福富昌城, 岸田宏司, 増田和高, 白澤政和. (2011.10.8-9). ケアマネジメント評価の視点: 利用者の QOL とケアマネジャーの QWL の関連を探る. 日本社会福祉学会第 59 回秋季大会, 千葉. (口演)
- 134) 高林克日己, 藤田伸輔, 西永正典, 後藤純, 吉江悟, 辻哲夫. (2011.6.25). 高齢者社会時代に対する在宅医療支援センター構想. 第 22 回日本在宅医療学会学術集会, 名古屋. (口演)
- 135) 立野麻衣子, 栗原直美, 水木明美, 石山麗子, 大川潤一, 小山茂孝, 中村真理, 藤田仁朗, 牧野雅美, 水村美穂子, 吉江悟. (2011.6.25). 医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーとの連携に関するヒヤリング報告. 東京都介護支援専門員研究協議会第 3 回研究大会, 東京. (口演)
- 136) 吉江悟, 石山麗子, 大川潤一, 栗原直美, 小山茂孝, 立野麻衣子, 中村真理, 藤田仁朗, 牧野雅美, 水木明美, 水村美穂子. (2011.6.25). 介護支援専門員の業務範囲はどこまで?. 東京都介護支援専門員研究協議会第 3 回研究大会, 東京. (口演)
- 137) Arimori, N., Inaba, K., Yoshie, S., Horiuchi, S., Yoshino, M., Nakayama, K., Tsuji, K., Fukuda, N., Mizuki, M., Nomura, M., Takeda, K., Kitazono, M., & Nagamori, K. (2012.1.21). Development of a decision-making educational program related to the health subjects of reproduction in female. 6th International Shared Decision Making Conference, Maastricht. (ポスター)
- 138) 吉江悟, 岡田進一, 福富昌城, 白木裕子, 高砂裕子, 山田圭子, 畑智恵美, 増田和高, 米澤麻子, 白澤政和. (2011.6.15). 家族が評価する介護保険利用前後の高齢者の状態変化:

- 認知症群と非認知症群の比較より. 第 27 回日本老年学会総会, 東京. (ポスター)
- 139) 白澤政和, 畑智恵美, 吉江悟, 白木裕子. (2011.3.13). ケアマネジメント評価と QOL の向上: 新たなケアマネジメントの評価のあり方を探る. 日本ケアマネジメント学会 in 北九州, 北九州. (ワークショップ)
- 140) Murayama, H., Sugawara, I., Yoshie, S., Wakui, T., & Arami, R. (2010.11.7). Neighborhood environment and sense of community: multilevel analysis in suburban city of Tokyo. The American Public Health Association 138th Annual Meeting, Denver. (ポスター)
- 141) 宮田裕章, 吉江悟, 大久保豪, 大橋靖雄. (2010.10.29). 患者の声の定性的評価: 動画配信サイト JPOP-VOICE の検討より. 第 48 回日本癌治療学会学術集会, 京都. (シンポジウム)
- 142) 吉江悟, 阿部篤子, 榊原章人, 萩原偉彦, 瀧本禎之, 前田正一, 赤林朗. (2010.10.15). A 特定機能病院における苦情対応: 累積対応回数別の内容・対応の特徴. 第 48 回日本医療・病院管理学会学術総会, 広島. (ポスター)
- 143) 吉江悟, 大川潤一, 栗原直美, 小山茂孝, 立野麻衣子, 中村真理, 藤田仁朗, 逸見良子, 牧野雅美, 水下明美, 水村美穂子. (2010.8.29). 居宅介護支援事業所における加算請求留保の実態とその関連要因. 第 9 回日本ケアマネジメント学会研究大会, 新座. (口演)
- 144) 奥田亜由子, 飯塚哲男, 岡田進一, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 柴山志穂美, 白木裕子, 高砂裕子, 林和美, 福富昌城, 山崎弘子, 山田圭子, 吉江悟, 吉谷敬, 米澤麻子, 野中猛, 白澤政和, 前沢政次. (2010.8.29). スーパービジョンのあり方に関する調査 第 1 報: ヒアリング調査. 第 9 回日本ケアマネジメント学会研究大会, 新座. (口演)
- 145) 神谷良子, 飯塚哲男, 岡田進一, 奥田亜由子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 柴山志穂美, 白木裕子, 高砂裕子, 林和美, 福富昌城, 山崎弘子, 山田圭子, 吉江悟, 吉谷敬, 米澤麻子, 野中猛, 白澤政和, 前沢政次. (2010.8.29). スーパービジョンのあり方に関する調査 第 2 報: テキスト・カリキュラム調査. 第 9 回日本ケアマネジメント学会研究大会, 新座. (口演)
- 146) 白木裕子, 飯塚哲男, 岡田進一, 奥田亜由子, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 柴山志穂美, 高砂裕子, 林和美, 福富昌城, 山崎弘子, 山田圭子, 吉江悟, 吉谷敬, 米澤麻子, 野中猛, 白澤政和, 前沢政次. (2010.8.29). スーパービジョンのあり方に関する調査 第 3 報: モデル研修の実施と評価. 第 9 回日本ケアマネジメント学会研究大会, 新座. (口演)
- 147) 栗原直美, 大川潤一, 小山茂孝, 立野麻衣子, 中村真理, 逸見良子, 水村美穂子, 水下明美, 藤田仁朗, 牧野雅美, 吉江悟. (2010.6.19). 都内居宅介護支援事業者における平成 21 年度介護報酬改定後の各種加算の請求実態と加算要件に対する認識に関する調査報告. 東京都介護支援専門員研究協議会第 2 回研究大会, 東京. (口演)
- 148) 吉江悟. (2010.6.12). 延命治療に対する意向が代諾者と異なる場合自身の意向通りの対応を強く望むのはどのような患者層か?. 日本看護倫理学会第 3 回年次大会, 札幌. (口演)
- 149) 榊原章人, 阿部篤子, 萩原偉彦, 吉江悟, 瀧本禎之. (2009.12.19). 文書での謝罪を求める患者への対応. 第 4 回医療事故・紛争対応研究会年次カンファレンス, 神戸. (口演)
- 150) Sugawara, I., Murayama, H., Yoshie, S., Wakui, T., Arami, R. (2009.11.21). Generational differences of community attachment and community activity

- participation: study in a suburban city of Tokyo. The Gerontological Society of America 62nd Annual Scientific Meeting, Atlanta. (ポスター)
- 151) 村山洋史, 菅原育子, 涌井智子, 荒見怜子, 吉江悟. (2009.10.22). ソーシャルキャピタルと居住地区環境: 柏市民調査の結果から(第1報). 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良. (ポスター)
- 152) 涌井智子, 荒見怜子, 村山洋史, 菅原育子, 吉江悟. (2009.10.22). ソーシャルキャピタルと介護意識: 柏市民調査の結果から(第2報). 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良. (ポスター)
- 153) 荒見玲子, 村山洋史, 吉江悟, 涌井智子, 菅原育子. (2009.10.22). 地域の保健福祉組織への信頼の規定要因: 柏市民調査の結果から(第3報). 第68回日本公衆衛生学会総会, 奈良. (ポスター)
- 154) 榊原章人, 阿部篤子, 萩原偉彦, 吉江悟, 瀧本禎之, 前田正一, 赤林朗. (2009.10.18). A 特定機能病院の患者相談・臨床倫理センターにおける相談対応 第1報: 2008年度対応実績より. 第47回日本医療・病院管理学会学術総会, 東京. (ポスター)
- 155) 吉江悟, 瀧本禎之, 阿部篤子, 榊原章人, 萩原偉彦, 前田正一, 赤林朗. (2009.10.18). A 特定機能病院の患者相談・臨床倫理センターにおける相談対応 第2報: 患者相談部門スタッフによる診療場面等への「同席」の意義と課題. 第47回日本医療・病院管理学会学術総会, 東京. (ポスター)
- 156) 飯塚哲男, 奥田亜由子, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 白木裕子, 吉江悟, 吉谷敬, 野中猛, 前沢政次. (2009.6.20). 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究 第1報: スーパービジョンに関する調査項目の作成. 第8回日本ケアマネジメント学会研究大会, 横浜. (口演)
- 157) 吉谷敬, 飯塚哲男, 奥田亜由子, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 白木裕子, 吉江悟, 野中猛, 前沢政次. (2009.6.20). 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究 第2報: スーパービジョンに対する重要性の認識. 第8回日本ケアマネジメント学会研究大会, 横浜. (口演)
- 158) 神谷良子, 飯塚哲男, 奥田亜由子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 白木裕子, 吉江悟, 吉谷敬, 野中猛, 前沢政次. (2009.6.20). 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究 第3報: スーパービジョンの提供・受領実態. 第8回日本ケアマネジメント学会研究大会, 横浜. (口演)
- 159) 齊藤眞樹, 飯塚哲男, 奥田亜由子, 神谷良子, 近藤明美, 白木裕子, 吉江悟, 吉谷敬, 野中猛, 前沢政次. (2009.6.20). 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究 第4報: スーパービジョン技術の習得. 第8回日本ケアマネジメント学会研究大会, 横浜. (口演)
- 160) 奥田亜由子, 飯塚哲男, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 白木裕子, 吉江悟, 吉谷敬, 野中猛, 前沢政次. (2009.6.20). 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究 第5報: 熟達者向けフォーカスグループインタビュー. 第8回日本ケアマネジメント学会研究大会, 横浜. (口演)
- 161) 吉江悟, 飯塚哲男, 奥田亜由子, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 白木裕子, 吉谷敬, 野中猛, 前沢政次. (2009.6.20). 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する

- る研究 第6報: スーパービジョンの定義についての認識. 第8回日本ケアマネジメント学会研究大会, 横浜.(口演)
- 162) 吉江悟, 宮田裕章, 甲斐一郎. (2008.11.6). 一般中高年者とその重要他者の延命治療に対する意向の一致度. 第67回日本公衆衛生学会総会, 福岡.(ポスター)
- 163) 吉江悟, 栗原直美, 大川潤一, 立野麻衣子, 牧野雅美. (2008.7.25). 都内の居宅介護支援事業所における指導検査に関する実態調査報告. 第7回日本ケアマネジメント学会研究大会, 熊本.(ポスター)
- 164) 真柄予右子, 木村綾, 齋藤美子, 田上真弓, 吉江悟. (2008.10.7). ICU と回復期リハビリテーション病棟の看護業務調査: TNS(Toranomon Nursing System)改訂に向けて. 第57回共済医学会総会, 横浜.(口演)
- 165) 吉江悟, 栗原直美. (2007.10.21). 精神障害事例への介護支援専門員の担当意向・苦手意識・やりがい感とその関連要因. 第66回日本公衆衛生学会総会, 松山.(ポスター)
- 166) 吉江悟. (2006.7.16). 連携と情報共有に関する実態調査: 医師・ケアマネジャーを対象に. 第5回日本ケアマネジメント学会研究大会, 幕張.(口演)
- 167) 栗原直美, 立野麻衣子, 末延法子, 平澤かおる, 三原由美子, 榎戸裕子, 阿部義美, 千葉明子, 高岡里佳, 高良麻子, 吉江悟. (2005.10.30). 東京都介護支援専門員のストレスに関する調査結果. 日本ケアマネジメント学会公開講座 in 東京 第1回東京都介護支援専門員研究協議会研究大会, 東京.(口演)
- 168) 吉江悟, 齋藤民, 高橋都, 甲斐一郎. (2004.7.11). ケース対応に関して介護支援専門員が抱く困難とそれに対する研修・社会的支援の役割. 第3回日本ケアマネジメント学会研究大会, 大阪.(ポスター)
- 169) 吉江悟. (2004.7.3). 居宅介護支援専門員の職務満足感とその関連要因. 職業性ストレス研究会, 東京.(口演)
- 170) 吉江悟, 齋藤民, 高橋都, 甲斐一郎. (2004.7.2). 居宅介護支援専門員の職務満足感とその関連要因. 第46回日本老年社会学会大会, 仙台.(口演)
- 171) 大久保豪, 李賢情, 和久井君江, 吉田真奈美, 吉江悟, 齋藤民, 甲斐一郎. (2004.10.27-29). なぜ男性高齢者は介護予防事業に参加しないのか?: 介護予防事業事例の検討から. 第63回日本公衆衛生学会総会, 松江.(ポスター)
- 172) 吉江悟, 齋藤民, 甲斐一郎. (2002.10.23-25). 高齢者在宅介護の困難事例の現状: 長野県A市の行政保健師へのインタビューから. 第61回日本公衆衛生学会総会, さいたま.(ポスター)
- 173) 李相侖, 齋藤民, 小澤恵美, 吉江悟, 川添麻紀子, 佐々木彩子, 西村知紗, 鄭迎芳. (2002.11.14-15). 大学生の精神障害者への支援意識とその関連要因, 第67回日本民族衛生学会総会, 東京.(口演)

9. 研究報告書

- 1) 孫瑜, 伊藤智子, 佐方信夫, 吉江悟, 田宮菜奈子. (2023). 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業研究事業): 在宅医療を必要とする患者像の検討と地域特性に合わせた在宅医療提供体制の構築に関する研究 分担研究報告書: 在宅医療を受ける患者の4つの医療機能におけるアウトカム評価: 自治体の医療介護突合データを用いた要介護

度・難病等の有無別の検討。

- 2) 孫瑜, 伊藤智子, 佐方信夫, 吉江悟, 大久保豪, 飯島勝矢, 川越雅弘, 石崎達郎, 金雪瑩, 田宮菜奈子. (2023). 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業研究事業): 在宅医療を必要とする患者像の検討と地域特性に合わせた在宅医療提供体制の構築に関する研究 分担研究報告書: ヒヤリング調査.
- 3) 飯島勝矢, 田宮菜奈子, 川越雅弘, 石崎達郎, 福井小紀子, 吉江悟, 二宮英樹, 浜田将太, 土屋瑠見子, 光武誠吾, 北村智美, 森田光治良, 岩上将夫, 金雪瑩, 伊藤智子, 森隆浩, 陣内裕成, 安富元彦, 小宮山潤, 鈴木俊輝, 鈴木守, 松本佳子. (2021). 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 在宅及び慢性期の医療機関で療養する患者の状態の包括的評価方法の確立のための研究 総合・総括研究報告書.
- 4) 飯島勝矢, 田宮菜奈子, 川越雅弘, 石崎達郎, 福井小紀子, 吉江悟, 二宮英樹, 浜田将太, 土屋瑠見子, 光武誠吾, 北村智美, 森田光治良, 岩上将夫, 金雪瑩, 伊藤智子, 森隆浩, 陣内裕成, 安富元彦, 小宮山潤, 鈴木俊輝, 鈴木守, 松本佳子. (2020). 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 在宅及び慢性期の医療機関で療養する患者の状態の包括的評価方法の確立のための研究 総括研究報告書.
- 5) 川越雅弘, 飯島勝矢, 川島孝一郎, 福井小紀子, 篠田道子, 山岸暁美, 坂井志麻, 石川ベンジャミン光一, 吉江悟, 松本佳子, 吉田真季, 新田國夫, 大川潤一, 葛原千恵子, 榊原麻子, 橋口桂子, 手島浩司, 吉田真二. (2020). 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 在宅医療の提供体制の評価指標の開発のための研究 総括研究報告書.
- 6) 福井小紀子, 飯島勝矢, 川越雅弘, 埴岡健一, 藤田淳子, 石川孝子, 藤川あや, 吉江悟, 松本佳子, 赤田啓伍, 久保田健太郎. (2020). 平成30年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業): 在宅医療・介護連携の質に関する評価ツールの開発と検証 総括研究報告書.
- 7) 川越雅弘, 江澤和彦, 後藤裕子, 山田尋志, 小島操, 角野文彦, 小田島史恵. (2020). 令和元年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分): 医療職・介護職・患者住民の視点を踏まえた質の高い在宅医療・介護連携の在り方と評価指標に関する調査研究事業(実施団体: 国立大学法人東京大学) 報告書.
- 8) 朝比奈ミカ, 江澤和彦, 草場鉄周, 柴垣維乃, 新田國夫, 川越雅弘, 松田晋哉. (2020). 令和元年度老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分): 高齢者の社会的リスクに関する基礎的調査研究事業(実施団体: 一般社団法人人とまちづくり研究所) 報告書.
- 9) 川越雅弘, 江澤和彦, 後藤裕子, 山田尋志, 小島操, 角野文彦, 小田島史恵. (2020). 令和元年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 医療職・介護職・患者住民の視点を踏まえた質の高い在宅医療・介護連携の在り方と評価指標に関する調査研究事業(実施団体: 国立大学法人東京大学) 報告書.
- 10) 飯島勝矢, 田宮菜奈子, 川越雅弘, 石崎達郎, 福井小紀子, 吉江悟, 二宮英樹, 宮城禎也, 佐々木健佑, 安富元彦, 鈴木守, 北村智美, 角川由香, 松本佳子, 木全真理, 岩上将夫, 裴麗瑩, 植嶋大晃, 光武誠吾. (2019). 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 在宅及び慢性期の医療機関で療養する患者の状態の包括的評価方法の確立のための研究 総括研究報告書.
- 11) 福井小紀子, 飯島勝矢, 川越雅弘, 埴岡健一, 藤田淳子, 吉江悟, 松本佳子, 赤田啓伍, 久保

- 田健太郎. (2019). 平成 30 年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業): 在宅医療・介護連携の質に関する評価ツールの開発と検証 総括研究報告書.
- 12) 荒木暁子, 瀬戸僚馬, 高砂裕子, 新田國夫, 林田賢史, 平原優美, 福井小紀子. (2019). 平成 30 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 訪問看護の情報標準化のための「訪問看護記録書Ⅱ」の記録・共有のあり方に関する調査研究(実施団体: 一般社団法人 Neighborhood Care) 報告書.
 - 13) 飯島勝矢, 太田秀樹, 辻哲夫, 新田國夫, 服部真治, 三浦久幸, 宮島俊彦, 吉江悟. (2017). 平成 28 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための地方自治体職員の育成プログラムに関する調査研究(実施団体: 株式会社富士通総研) 報告書.
 - 14) 辻哲夫, 飯島勝矢, 太田秀樹, 川越雅弘, 近藤克則, 新田國夫, 服部真治, 藤原佳典, 堀田聰子, 三浦久幸, 宮島俊彦, 吉江悟. (2017). 平成 28 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 地域包括ケア推進に向けた総合的な自治体職員研修・支援体制に関する調査研究(実施団体: 株式会社富士通総研) 報告書.
 - 15) 秋下雅弘, 辻哲夫, 飯島勝矢, 山中崇, 吉江悟, 松本佳子. (2017). 平成 28 年度国立研究開発法人国立長寿医療研究センター運営費交付金研究開発費(長寿医療研究開発費): 在宅医療支援病棟を中心とした地域在宅医療の活性化(多職種による在宅医療・介護連携に必要なツール等の開発、普及・啓発を含む)(研究代表者: 三浦久幸) 分担研究報告書
 - 16) 吉江悟, 野口麻衣子, 秋下雅弘, 辻哲夫, 飯島勝矢, 山本則子, 永田智子, 五十嵐歩, 成瀬昂, 木村琢磨. (2017). 平成 28 年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)長寿科学研究開発事業: 在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究 報告書.
 - 17) 千葉明子, 南雲健吾, 牧野和子, 牧野雅美, 横山裕子, 吉江悟. (2017). 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2015 年度(後期)一般公募「在宅医療研究への助成」: 「三方よし」のケアマネジメントの実現に向けた調査研究 報告書
 - 18) 藤沼康樹, 植野順子, 鹿野史子, 池畑美也子, 吉江悟, 北村智美. (2017). 平成 28 年度柏市委託研究事業: 多職種に対する意思決定支援の研修プログラム開発等業務委託報告書.
 - 19) 辻哲夫, 飯島勝矢, 山中崇, 吉江悟, 土屋瑠見子, 芦田登代. (2016). 平成 25~27 年度独立行政法人国立がん研究センター運営費交付金研究開発費(がん研究開発費): がん患者医療情報の高度活用による終末期医療・在宅医療の全国実態調査に関する研究(研究代表者: 木下寛也) 分担研究(レセプト情報を利用した終末期医療・在宅医療の実態調査のための予備調査研究) 報告書
 - 20) 吉江悟, 野口麻衣子, 秋下雅弘, 辻哲夫, 飯島勝矢, 山本則子, 永田智子, 五十嵐歩, 成瀬昂, 木村琢磨. (2016). 平成 27 年度国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)長寿科学研究開発事業: 在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究 報告書.
 - 21) 飯島勝矢, 太田秀樹, 新田國夫, 三浦久幸, 宮島俊彦, 吉江悟. (2016). 平成 27 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための多職種連携プログラムによる調査研究(実施団体: 株式会社富士通総研) 報告書.

- 22) 前沢政次, 白澤政和, 伊藤重夫, 奥田亜由子, 辻敏子, 白木裕子, 原田重樹, 福富昌城, 山田圭子, 吉江悟. (2015). 平成 26 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての実習型研修の展開に向けての調査研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 報告書.
- 23) 辻哲夫, 飯島勝矢, 山中崇, 吉江悟, 野口麻衣子, 土屋瑠見子. (2015). 平成 26 年度柏市委託研究事業: 効率的な在宅医療・介護サービス提供のための多職種連携に関する研究 報告書.
- 24) 吉江悟, 野口麻衣子, 秋下雅弘, 辻哲夫, 飯島勝矢, 山本則子, 永田智子, 五十嵐歩, 成瀬昂. (2015). 平成 26 年度厚生労働科学研究委託費(長寿科学研究開発事業): 在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究 報告書.
- 25) 辻哲夫, 飯島勝矢, 吉江悟, 松本佳子, 土屋瑠見子. (2015). 平成 24~26 年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究(研究代表者: 大島伸一), 分担研究報告書: 在宅医療多職種研修の普及に関する研究(研究分担者: 辻哲夫, 飯島勝矢).
- 26) 前沢政次, 白澤政和, 伊藤重夫, 奥田亜由子, 辻敏子, 白木裕子, 原田重樹, 鈴木豊, 福富昌城, 山田圭子, 吉江悟. (2014). 平成 25 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての実習型研修の普及に向けての調査研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 報告書.
- 27) 辻哲夫, 飯島勝矢, 吉江悟, 土屋瑠見子. (2014). 平成 24~25 年度厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 在宅拠点の質の向上のための介入に資する、活動性の客観的評価に関する研究(研究代表者: 大島伸一), 分担研究報告書: 拠点医師活動モデルに関する研究(研究分担者: 辻哲夫).
- 28) 前沢政次, 野中猛, 白澤政和, 伊藤重夫, 白木裕子, 助川未枝保, 鈴木豊, 吉江悟. (2013). 平成 24 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての実習型研修の普及に向けての調査研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 報告書.
- 29) 白澤政和, 白木裕子, 高砂裕子, 山田圭子, 高瀬義昌, 岸田宏司, 吉江悟, 丹野克子, 増田和高, 畑亮輔. (2013). 平成 24 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する調査研究(実施団体: 学校法人桜美林学園) 報告書.
- 30) 江澤和彦, 梶原洋, 白川泰之, 園田真理子, 高橋紘士, 野中博, 廣江研, 堀家春野, 松岡洋子, 吉江悟. (2013). 平成 24 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 低所得高齢者の住宅確保に関する調査・検討: 「住まい」の確保と「住まい方」の支援を一体的に行う「地域善隣事業」の提案(実施団体: 高齢者住宅財団) 報告書.
- 31) 吉江悟, 五明郁美, 榊原章人, 阿部篤子, 萩原偉彦, 瀧本禎之, 赤林朗. (2013). 第 41 回(平成 22 年度)三菱財団社会福祉事業・研究助成: 病院患者相談窓口が果たす機能の実態とあり方に関する調査研究~患者と病院・制度の間に立つ者として~ 報告書.
- 32) 瀧本禎之, 吉江悟. (2012). 平成 22 年度ユニバーサル財団研究助成: 有料老人ホームにおける看取りの実現に関連する要因と看取りが職員に与える心理的影響 報告書.
- 33) 前沢政次, 野中猛, 白澤政和, 白木裕子, 吉江悟, 岡田進一, 奥田亜由子, 奥田龍人, 神谷良

- 子, 高砂裕子, 羽石芳恵, 福富昌城, 山田圭子. (2012). 平成 23 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての OJT の実践に関する研究(実施団体: 株式会社フジケア) 報告書.
- 34) 白澤政和, 岡田進一, 福富昌城, 白木裕子, 高砂裕子, 山田圭子, 吉江悟, 岸田宏司, 増田和高, 畑亮輔, 丹野克子, 高瀬義昌. (2012). 平成 23 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する調査研究(実施団体: 学校法人桜美林学園) 報告書.
- 35) 江澤和彦, 白川泰之, 杉村栄一, 園田真理子, 高橋紘士, 野中博, 廣江研, 堀家春野, 松岡洋子, 吉江悟. (2012). 平成 23 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 低所得高齢者の住宅確保と介護施設の将来像に関する調査・検討(実施団体: 高齢者住宅財団) 報告書.
- 36) 石山麗子, 大川潤一, 栗原直美, 小山茂孝, 立野麻衣子, 中村真理, 藤田仁朗, 牧野雅美, 水 downstream 明美, 水村美穂子, 吉江悟. (2011). 平成 21~22 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業&平成 22 年度フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団助成研究: 介護支援専門員の役割に関する研究報告書: どこまでが業務範囲か?.
- 37) 前沢政次, 野中猛, 白澤政和, 白木裕子, 吉江悟, 岡田進一, 奥田亜由子, 奥田龍人, 神谷良子, 高砂裕子, 羽石芳恵, 福富昌城, 山田圭子. (2011). 平成 22 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての OJT のあり方に関する研究(実施団体: 株式会社フジケア) 報告書.
- 38) 白澤政和, 岡田進一, 福富昌城, 白木裕子, 高砂裕子, 山田圭子, 岸田宏司, 吉江悟, 畑智恵美, 藤田直子, 増田和高. (2011). 平成 22 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護保険における適切なケアマネジメントの推進に関する調査研究事業(実施団体: 公立大学法人大阪市立大学) 報告書.
- 39) 伊藤重夫, 大川潤一, 國光登志子, 小島操, 西本裕子, 牧野雅美, 吉江悟. (2011). 平成 22 年度東京都緊急雇用創出事業: 介護支援専門員のスキルアップに資する研修環境構築等に向けた実態把握調査事業(実施団体: 特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会) 報告書.
- 40) 石山麗子, 大川潤一, 栗原直美, 小山茂孝, 立野麻衣子, 中村真理, 藤田仁朗, 牧野雅美, 水 downstream 明美, 水村美穂子, 吉江悟. (2011). 平成 22 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業: 医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーとの連携に関するヒヤリング報告.
- 41) 前沢政次, 野中猛, 白澤政和, 白木裕子, 吉江悟, 飯塚哲男, 岡田進一, 奥田亜由子, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤真樹, 柴山志穂美, 高砂裕子, 林和美, 福富昌城, 山崎弘子, 山田圭子, 吉谷敬. (2010). 平成 21 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 報告書.
- 42) 大川潤一, 栗原直美, 小山茂孝, 立野麻衣子, 中村真理, 藤田仁朗, 逸見良子, 牧野雅美, 水 downstream 明美, 水村美穂子, 吉江悟. (2010). 平成 21 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業: 都内居宅介護支援事業者における平成 21 年度介護報酬改定

後の各種加算の請求実態と加算要件に対する認識に関する調査報告。

- 43) 鎌田実, 吉江悟, 菅原育子, 村山洋史, 涌井智子, 荒見玲子, 二瓶美里. (2010). 超高齢社会対応の移動に関する調査研究: 高齢男性における運転行動の関連要因. 平成 21 年度 AGS 研究プロジェクト成果報告書.
- 44) 牧野篤, 菅原育子, 村山洋史, 吉江悟, 涌井智子, 荒見玲子. (2010). 都市型高齢社会に対応した社会関係資本の再生と人のつながりの創成. 平成 21 年度 AGS 研究プロジェクト成果報告書.
- 45) 前沢政次, 白木裕子, 飯塚哲男, 奥田亜由子, 神谷良子, 近藤明美, 齊藤眞樹, 吉江悟, 吉谷敬. (2009). 平成 20 年度厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 報告書.
- 46) 羽藤邦利, 稲垣中, 大久保豪, 小栗康平, 梶原徹, 菊地俊暁, 黒田光代, 佐藤忠彦, 白石弘巳, 西村由紀, 野村忠良, 平田豊明, 穂積登, 山本健一, 横山由香里, 吉江悟. (2009). 平成 20 年度厚生労働省障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト): 医療機関や社会復帰施設が精神障害者の緊急対応を行いやすくするための研究(実施団体: 特定非営利活動法人 メンタルケア協議会) 報告書.
- 47) 大川潤一, 栗原直美, 立野麻衣子, 牧野雅美, 吉江悟. (2009). 平成 19~20 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業: 介護給付に関する FAX 報告フォーム事例まとめ.
- 48) 大川潤一, 栗原直美, 立野麻衣子, 牧野雅美, 吉江悟. (2008). 平成 19~20 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業: 都内の市区町村におけるケアマネジメントサービス資源の実態把握およびニーズの将来予測に関する調査報告.
- 49) 岡本裕香, 唐沢和成, 清崎由美子, 佐久間真弓, 中島洋一, 増田貢, 三橋由佳, 吉澤保, 吉江悟. (2008). 平成 19 年度神奈川県提案型協働事業 介護支援専門員生涯研修体系構築事業報告書(実施団体: 川崎市介護支援専門員連絡会).
- 50) 大川潤一, 栗原直美, 立野麻衣子, 牧野雅美, 吉江悟. (2008). 平成 19 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業: 指導検査に関するアンケート調査報告.
- 51) 木村靖, 栗原直美, 高岡里佳, 立野麻衣子, 吉江悟. (2007). 平成 18 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業: 精神障害のある事例に対する介護支援専門員の担当意向、苦手意識、やりがい感とその関連要因: ビネット法を用いて.
- 52) 穂積登, 羽藤邦利, 星昭輝, 長尾佳子, 須貝佑一, 芦刈伊世子, 安倍英一郎, 岩田長人, 白石弘巳, 五十嵐禎人, 河村哲, 諏訪克行, 西村徹, 西村知香, 丸島俊介, 香川美里, 高橋俊彦, 貞弘貴史, 上條弘次, 葦名ゆき, 杉岡麻子, 田口博章, 大竹夏夫, 野村完, 寺町東子, 橋場隆志, 野村武司, 吉江悟, 秦美香, 渡辺昇, 大槻晃, 織田昭子, 木村喜美代, 里見則子, 瀬瀬恵美子, 西村由紀. (2006). 平成 17 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)未来志向型研究プロジェクト: 介護福祉サービス事業所における対応困難事例に対して有効な精神医学的・法的・介護技術的専門化連携型コンサルテーションシステムを構築するための調査及び試行的実施(実施団体: 特定非営利活動法人 メンタルケア協議会) 報告書.

- 53) 白石弘巳, 松原三郎, 水野裕, 吉江悟. (2006). 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業): 精神科病棟における患者像と医療内容に関する研究(主任研究者: 保坂隆), 分担研究報告書: 認知症治療病棟に関する研究(分担研究者: 白石弘巳).
- 54) 穂積登, 羽藤邦利, 星昭輝, 長尾佳子, 須貝佑一, 芦刈伊世子, 安倍英一郎, 岩田長人, 白石弘巳, 五十嵐禎人, 河村哲, 諏訪克行, 西村徹, 西村知香, 丸島俊介, 香川美里, 高橋俊彦, 貞弘貴史, 上條弘次, 葦名ゆき, 杉岡麻子, 田口博章, 大竹夏夫, 野村完, 寺町東子, 橋場隆志, 野村武司, 吉江悟, 秦美香, 渡辺昇, 大槻晃, 織田昭子, 木村喜美代, 里見則子, 瀨瀬恵美子, 西村由紀. (2005). 平成 16 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)未来志向型研究プロジェクト: 介護福祉サービス事業所における対応困難事例に対して有効な精神医学的・法的・介護技術的専門化連携型コンサルテーションシステムを構築するための調査及び試行的実施(実施団体: 特定非営利活動法人 メンタルケア協議会) 報告書.
- 55) 久良木香, 栗原直美, 末延法子, 高岡里佳, 立野麻衣子, 三原由美子, 吉江悟. (2005). 平成 16 年度特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会調査研究事業: 介護保険制度の見直しに関するアンケート調査結果報告.
- 56) 吉江悟, 齋藤民, 高橋都, 甲斐一郎, 大橋一弥, 金井美香, 渡辺昇, 高岡里佳. (2004). 平成 15 年度フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成・事業助成報告書: 介護支援専門員の感じる職務遂行上の困難及び支援・研修に関する研究: ケースへの対応に関する困難に焦点を当てて. 299-324.
- 57) 吉江悟, 甲斐一郎, 高橋都, 齋藤民, 高岡里佳. (2004). 平成 15 年度ユニバーサル財団研究助成報告書: 介護支援専門員の感じる職務遂行上の困難及び支援・研修に関する研究.

10. 受賞

- 1) 北村智美, 森田光治良, 吉江悟, 飯島勝矢. (2020). 第 79 回日本公衆衛生学会総会 優秀口演賞(演題名: 高齢 COPD 患者における在宅医療・介護サービス利用状況と入院との関連).
- 2) Mitsutake, S., Ishizaki, T., Tsuchiya-Ito, R., Uda, K., Ueshima, H., Matsuda, T., Jinnouchi, H., Yoshie, S., Iijima, K., & Tamiya, N. (2019). The outstanding poster of 24 October in 11th International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/Oceania Regional Congress (Associations of rehabilitation of long term care with care-need level deterioration at twelve months after discharge in Japan)
- 3) 吉江悟. (2019). 第 67 回東京都社会福祉大会. 社会福祉団体・在宅福祉サービス団体役職員功労者表彰(東京都介護支援専門員研究協議会における活動に対して).
- 4) 千葉明子, 南雲健吾, 牧野和子, 牧野雅美, 横山裕子, 吉江悟. (2017). 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2015 年度(後期)一般公募「在宅医療研究への助成」勇美賞(研究題目: 「三方よし」のケアマネジメントの実現に向けた調査研究).
- 5) 松本佳子, 吉江悟, 稲荷田修一, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2016). 第 75 回日本公衆衛生学会総会 ポスター賞(演題名: 在宅医療・介護連携推進担当者の医療・介護職種との関係構築: タイムスタディによる検討).
- 6) 吉江悟, 木村琢磨, 野口麻衣子, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫, 秋下雅弘. (2016). 第 17 回日本在宅医学会大会 優秀賞(演題名: 夜間休日におけるファーストコール対応機関と患者・家族

の安心感・満足感、医師や看護師のジョブ・コントロールとの関連).

- 7) 野口麻衣子, 吉江悟, 梅宮千穂, 石原昌子, 山中崇. (2015). 第5回日本在宅看護学会学術集会 JANHC5 Award グッドオーラル賞(演題名: 訪問看護師による病院看護師向けの地域連携セミナーの開催とその効果)
- 8) 木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 飯島勝矢. (2014). 第16回日本在宅医学会大会 優秀賞(演題名: 訪問診療・訪問看護における胃瘻チューブの交換に関する実態調査).
- 9) 吉江悟, 土屋瑠見子, 西永正典, 川越正平, 平原佐斗司, 藤田伸輔, 大西弘高, 多職種連携プログラム作成委員会, 村山洋史, 木全真理, 柴崎孝二, 飯島勝矢, 辻哲夫. (2013). 第15回日本在宅医学会大会 佐藤智賞(最優秀賞) 研究部門(演題名: 市町村単位の在宅医療多職種連携研修会を受講した開業医の意識変化: 8.0日版と2.5日版の比較を含めた検討).
- 10) 飯島勝矢, 吉江悟, 木全真理, 後藤純, 井堀幹夫, 山本拓真, 久保真人, 平江良成, 鎌田実, 辻哲夫. (2013). 第15回日本在宅医学会大会 優秀賞(演題名: Aging in Place を目指した在宅医療推進: 千葉県・柏モデルにおいて市町村行政・地区医師会と一緒に推し進める中での大学の役割と意義).
- 11) 吉江悟, 阿部篤子, 榊原章人, 萩原偉彦, 瀧本禎之, 前田正一, 赤林朗. (2010). 第48回日本医療・病院管理学会学術総会ベストポスター賞(演題名: A 特定機能病院における苦情対応: 累積対応回数別の内容・対応の特徴).

11. 競争的予算

(1) 執行中

- 1) 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2020年度(前期)指定公募「課題解決型実証研究」論文枠: 地域包括ケア・地域共生社会に対応したリンクワーカー養成の試行と評価. (2020-2021). 研究代表者: 吉江悟, 研究分担者: 川越雅弘, 近藤尚己, 後藤励, 柴垣維乃, 長嶺由衣子, 西岡大輔, 堀田聡子, 村井邦彦. 4,000,000円(直接).

(2) 執行済

- 1) 公益財団法人大和証券ヘルス財団平成30年度調査研究助成: 在宅呼吸リハビリテーションの現状と課題: 医療介護レセプト分析とインタビュー調査による混合研究. (2018-2019). 研究代表者: 北村智美, 研究分担者: 山本則子, 五十嵐歩, 飯島勝矢, 吉江悟, 森田光治良. 700,000円(直接); 0円(間接).
- 2) 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構2018年度(第22回)若手研究者育成研究助成: 慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸リハビリテーションの利用実態と再入院率及び医療介護費との関連: 医療介護レセプトデータベースを用いた後ろ向き研究. (2018-2019). 研究代表者: 北村智美, 研究分担者: 山本則子, 五十嵐歩, 吉江悟, 森田光治良. 580,000円(直接); 0円(間接).
- 3) 平成30年厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 訪問看護の情報標準化のための「訪問看護記録書II」の記録・共有のあり方に関する調査研究(実施団体: 一般社団法人 Neighborhood Care). 4,112,000円(直接)
- 4) 平成26年度厚生労働科学研究委託費(長寿科学研究開発事業)-平成27~28年度国立研究開

- 発法人日本医療研究開発機構(AMED)長寿科学研究開発事業: 在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究. (2014-2016). 研究代表者: 吉江悟, 研究分担者: 辻哲夫, 秋下雅弘, 飯島勝矢, 山本則子, 永田智子, 五十嵐歩, 成瀬昂, 野口麻衣子, 木村琢磨. 32,754,000 円(直接); 9,826,000 円(間接).
- 5) 平成 24~28 年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究 B, 研究課題番号 24792384): 在宅療養者を対象とした意思決定支援プログラムの試行及び評価. (2012-2016). 代表研究者: 吉江悟. 3,200,000 円(直接); 960,000 円(間接).
 - 6) 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2015 年度(後期)一般公募「在宅医療研究への助成」: 「三方よし」のケアマネジメントの実現に向けた調査研究. (2016). 研究代表者: 千葉明子, 研究分担者: 南雲健吾, 牧野和子, 牧野雅美, 横山裕子, 吉江悟. 810,000 円(直接).
 - 7) 平成 21~23 年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究 B, 研究課題番号 21792170): 意思決定支援看護学の体系化に関する基礎的研究. (2009-11). 代表研究者: 吉江悟. 2,700,000 円(直接); 810,000 円(間接).
 - 8) 平成 22 年度三菱財団社会福祉事業・研究助成: 病院患者相談窓口が果たす機能の実態とあり方に関する調査研究: 患者と病院・制度の間に立つ者として. (2010). 研究代表者: 吉江悟, 共同研究者: 阿部篤子, 榊原章人, 萩原偉彦. 2,000,000 円(直接).
 - 9) 平成 22 年度ユニバーサル財団研究助成: 有料老人ホームにおける看取りの実現に関連する要因と看取りが職員に与える心理的影響. (2010). 研究代表者: 瀧本禎之, 共同研究者: 吉江悟. 1,000,000 円 (直接).
 - 10) 平成 22 年度フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成: ケースメソッドを用いた介護支援専門員の役割の明確化に関する研究. (2010). 研究代表者: 牧野雅美, 共同研究者: 大川潤一, 吉江悟. 300,000 円(直接).
 - 11) 平成 20 年度東京大学 AGS 研究会研究助成: 超高齢社会対応の移動に関する調査研究. (2008). 研究代表者: 鎌田実, 共同研究者: 大方潤一郎, 秋山弘子, 二瓶美里, 村田久, 吉江悟. 1,000,000 円(直接).
 - 12) 平成 19 年度虎の門病院研究助成: ICU と分院 2 号棟 2 階回復期リハビリテーション病棟の看護業務調査—TNS (Toranomom Nursing System)改訂に向けて—. (2007). 研究代表者: 真柄予右子, 共同研究者: 木村綾, 齋藤美子, 吉江悟, 田上真弓.
 - 13) 平成 18 年度東京大学総括プロジェクト機構ジェロントロジー寄付研究部門ジェロントロジー研究奨励事業: 介護職の体系的・効率的な研修受講環境の整備に関する研究. (2006). 研究代表者: 吉江悟, 共同研究者: 甲斐一郎, 宮内康二, 高砂裕子, 瀬戸恒彦. 350,000 円(直接).
 - 14) 平成 18 年度東京大学総括プロジェクト機構ジェロントロジー寄付研究部門ジェロントロジー研究奨励事業: 成年後見制度における市民後見人導入の可能性. (2006). 研究代表者: 宮内康二, 共同研究者: 武川正吾, 山口潔, 三瀬明子, 伊藤真木子, 村田久, 吉江悟.
 - 15) 平成 15 年度フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成: 介護支援専門員の感じる職務遂行上の困難及び支援・研修に関する研究—ケースへの対応に関する困難に焦点を当てて—. (2003). 研究代表者: 吉江悟, 共同研究者: 甲斐一郎, 高橋都, 齋藤民, 大橋一弥, 金井美香, 渡辺昇, 高岡里佳. 500,000 円(直接).
 - 16) 平成 15 年度ユニバーサル財団研究助成: 介護支援専門員の感じる職務遂行上の困難及び支

援・研修に関する研究。(2003). 研究代表者: 吉江悟, 共同研究者: 甲斐一郎, 高橋都, 齋藤民, 高岡里佳. 1,000,000 円(直接).

12. 研究分担者・委員等

(1) 調査・研究事業

- 1) 令和 4 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): PDCA サイクルに沿った在宅医療・介護連携推進事業の具体的推進方策に関する調査研究事業 (実施団体: 公立大学法人埼玉県立大学) 作業部会委員.
- 2) 令和 4 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 訪問看護の評価指標の標準化に関する調査研究事業 (実施団体: 公益財団法人日本訪問看護財団) 検討委員会委員.
- 3) 令和 4 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 看護と歯科口腔ケア分野の医療情報標準化と FHIR 仕様策定に関する研究(研究代表者: 大江和彦) 研究協力者.
- 4) 令和 3~4 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業研究事業): 在宅医療を必要とする患者像の検討と地域特性に合わせた在宅医療提供体制の構築に関する研究(研究代表者: 田宮菜奈子) 研究協力者
- 5) 令和 3~4 年度 日本在宅ケアアライアンス データブック開発事業 委員会委員.
- 6) 令和 3 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 訪問看護の評価指標の標準化に関する調査研究事業 (実施団体: 公益財団法人日本訪問看護財団) ワーキング委員.
- 7) 令和 2 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 新型コロナウイルス感染症影響下における介護サービス事業所や自治体の取組に関する調査研究事業 (実施団体: 一般社団法人人とまちづくり研究所) 委員会 委員
- 8) 令和 1 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 高齢者の社会的リスクに関する基礎的調査研究事業」研究会(社会的処方研究会) (実施団体: 一般社団法人 人とまちづくり研究所) 作業部会 メンバー
- 9) 令和 1 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護予防・日常生活支援総合事業及び生活支援体制整備事業の実施状況に関する調査研究事業 (実施団体: 株式会社 NTT データ経営研究所) 委員
- 10) 令和 1 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): ケアマネジメントの公正中立性を担保するための取組や質に関する指標のあり方に関する調査研究事業(実施団体: 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会) 委員
- 11) 令和 1 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護保険制度の実施状況に係る全体像把握のためのツールに関する調査研究事業(実施団体: 一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会) 在宅医療部会 委員
- 12) 平成 30~令和 1 年度 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業): 在宅医療・介護連携の質に関する評価ツールの開発と検証(研究代表者: 福井小紀子) 研究協力者
- 13) 平成 30~令和 2 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 在宅及び慢性期の医療機関で療養する患者の状態の包括的評価方法の確立のための研究(研究代

表者: 飯島勝矢) 研究協力者

- 14) 平成 30～令和 1 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 在宅医療の提供体制の評価指標の開発のための研究(研究代表者: 川越雅弘) 研究協力者
- 15) 平成 30 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護予防・日常生活支援総合事業及び生活支援体制整備事業の実施状況に関する調査研究事業(実施団体: 株式会社 NTT データ経営研究所) 委員
- 16) 平成 29 年 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 在宅医療・介護連携推進事業に係る効果的な事業の推進方法と評価に関する調査研究事業(実施団体: 公立大学法人埼玉県立大学) 委員
- 17) 平成 29 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 地域包括ケア推進に向けた総合的な自治体職員研修・支援体制に関する調査研究事業(実施団体: 株式会社富士通総研) 委員
- 18) 平成 28 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 地域包括ケア推進に向けた総合的な自治体職員研修・支援体制に関する調査研究(実施団体: 株式会社富士通総研) 委員
- 19) 平成 28 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための地方自治体職員の育成プログラムに関する調査研究事業(実施団体: 株式会社富士通総研) 委員
- 20) 平成 28～29 年度 日本学術振興会科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究, 課題番号 16K15954): 訪問看護サービスプロセスを可視化する日本版オマハシステムの開発と検証(研究代表者: 長江弘子) 研究協力者
- 21) 平成 28 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進研究事業): 統合ケアを指向した新たな地域包括ケアステーションに関する研究(研究代表者: 堀田聡子) 研究協力者
- 22) 平成 27～29 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進事業): 地域要因に基づいた在宅医療・介護連携推進に関する研究—汎用性の高い在宅医療・介護連携推進・ガイドラインの作成(研究代表者: 葛谷雅文) 研究協力者
- 23) 平成 27 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための多職種連携プログラムによる調査研究事業(実施団体: 株式会社富士通総研) 委員
- 24) 平成 27～28 年度 厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業): レセプト情報・特定健診等情報データベースを利用した医療需要の把握・整理・予測分析および超高速レセプトビッグデータ解析基盤の整備(研究代表者: 満武巨裕) 研究分担者
- 25) 平成 27 年度 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学政策研究事業): 統合ケアを指向した新たな地域包括ケアステーションに関する研究(研究代表者: 堀田聡子) 研究分担者
- 26) 平成 26 年度 一般財団法人オレンジクロス 地域包括ケアステーション実証開発プロジェクト 研究委員
- 27) 平成 26～27 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進事業): 市町村における在宅医療・介護の連携の促進とその客観的評価に関する研究(研究代表者: 大島伸一) 研究協力者
- 28) 平成 26 年度 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業): レセプト

- データを活用した療養場所移行とサービス利用の追跡調査に基づく効果的な地域連携体制の明確化(研究代表者: 永田智子) 研究協力者
- 29) 平成 26 年度 厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業): 縦断的レセプトデータを用いた医療・介護サービス利用状況の地域間比較(研究代表者: 成瀬昂) 研究協力者
 - 30) 平成 26 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての実習型研修の展開に関する調査研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 委員
 - 31) 平成 25~27 年度独立行政法人国立がん研究センター運営費交付金研究開発費(がん研究開発費): がん患者医療情報の高度活用による終末期医療・在宅医療の全国実態調査に関する研究(研究代表者: 木下寛也) 研究協力者
 - 32) 平成 24~26 年度 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業): 高齢者在宅医療に関する多職種連携の阻害要因を克服する教育システムの構築に関する研究(研究代表者: 鳥羽研二) 研究協力者
 - 33) 平成 24~26 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進事業): 被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究(研究代表者: 大島伸一) 研究協力者
 - 34) 平成 25 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての実習型研修の構築に関する調査研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 委員
 - 35) 平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業): レセプトデータを活用した療養場所移行とサービス利用の追跡調査に基づく効果的な地域連携体制の明確化(研究代表者: 永田智子) 研究分担者
 - 36) 平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業): 縦断的レセプトデータを用いた医療・介護サービス利用状況の地域間比較(研究代表者: 成瀬昂) 研究分担者
 - 37) 平成 24~25 年度 厚生労働科学研究費補助金(地域医療基盤開発推進事業): 在宅拠点の質の向上のための介入に資する、活動性の客観的評価に関する研究(研究代表者: 大島伸一) 研究協力者
 - 38) 平成 24 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての実習型研修の普及に向けての調査研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 委員
 - 39) 平成 24 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員の資質向上とケアマネジメントのあり方に関する調査・研究事業(実施団体: 学校法人桜美林学園) 委員
 - 40) 平成 24 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 低所得高齢者の住宅確保に関する調査・検討(実施団体: 高齢者住宅財団) 委員
 - 41) 平成 23 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての OJT の実践に関する研究(実施団体: 株式会社フジケア) 委員
 - 42) 平成 23 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護保険における適切なケアマネジメントの推進に関する調査研究事業(実施団体: 学校法人桜美林学園) 委員

- 43) 平成 23 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 低所得高齢者の住宅確保と介護施設の将来像に関する調査・検討(実施団体: 高齢者住宅財団) 委員
- 44) 平成 23 年度 科学技術振興機構社会技術研究開発センター社会技術研究開発事業「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」: 在宅医療を推進する地域診断標準ツールの開発(実施団体: 医療法人アスミス) 研究協力者
- 45) 平成 23 年度 厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業): HTLV-1 母子感染予防に関する研究—HTLV-1 抗体陽性妊婦からの出生児のコホート研究(研究代表者: 板橋家頭夫) 研究協力者
- 46) 平成 22 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての OJT のあり方に関する研究(実施団体: 株式会社フジケア) 委員
- 47) 平成 22 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護保険における適切なケアマネジメントの推進に関する調査研究事業(実施団体: 公立大学法人大阪市立大学) 委員
- 48) 平成 22 年度 東京都緊急雇用創出事業: 介護支援専門員のスキルアップに資する研修環境構築等に向けた実態把握調査事業(実施団体: 特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会) 調査検討委員会 委員
- 49) 平成 20~23 年度 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究 B, 課題研究番号 90218975): 女性のリプロダクション健康課題の意思決定支援教育コンソーシアムとプログラム検証(代表研究者: 有森直子) 連携研究者
- 50) 平成 20~21 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分): 介護支援専門員に対するスーパービジョンのあり方に関する研究(実施団体: 日本ケアマネジメント学会) 委員
- 51) 平成 20 年度 厚生労働省障害者保健福祉推進事業(障害者自立支援調査研究プロジェクト): 医療機関や社会復帰施設が精神障害者の緊急対応を行いやすくするための研究(実施団体: メンタルケア協議会) 委員
- 52) 平成 19 年度 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 看護業務量調査委員会(TNS 委員会) 委員
- 53) 平成 19 年度 神奈川県提案型協働事業 介護支援専門員生涯研修体系構築事業(実施団体: 川崎市介護支援専門員連絡会) 助言指導
- 54) 平成 17 年度 厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業): 精神科病棟における患者像と医療内容に関する研究(研究代表者: 保坂隆) 研究協力者
- 55) 平成 16~17 年度 厚生労働省老人保健事業推進費補助金(老人保健健康増進等事業分) 未来志向型プロジェクト: 介護福祉サービス事業所における対応困難事例に対して有効な精神医学的・法的・介護技術的専門家連携コンサルテーションを構築するための調査及び試行的実施(実施団体: 特定非営利活動法人メンタルケア協議会) 委員

(2) 調査・研究事業以外

- 1) 公益社団法人千葉県看護協会 看護研究委員会 副委員長(令和 4 年度)

- 2) 柏市民公益活動育成補助金審査委員会 副会長(令和 3～4 年度)
- 3) 公益財団法人日本訪問看護財団 訪問看護師による在宅療養者への対応マニュアル 作成検討メンバー(令和 3 年度)
- 4) 新潟県 在宅医療・介護連携推進事業に関する個別相談会・集合型相談会 アドバイザー(令和 2～4 年度)
- 5) 公益財団法人日本訪問看護財団 在宅看護専門委員会 委員(令和 1～2 年度)
- 6) 柏市民公益活動育成補助金審査委員会 委員(令和 1～4 年度)
- 7) 福岡県在宅医療・介護連携従事者支援事業 助言者 (平成 30～令和 4 年度)
- 8) 流山市自立支援型地域ケア会議 助言者(令和 1 年度)
- 9) 新潟県地域医療構想調整会議 委員(平成 30～令和 3 年度)
- 10) 厚生労働省委託 在宅医療・介護連携推進支援事業プラン作成強化セミナー(実施団体: 株式会社日本能率協会総合研究所) アドバイザー(平成 30 年度)
- 11) 杉並区在宅医療推進連絡協議会 委員(平成 30～令和 4 年度)
- 12) 柏市空家等対策協議会 委員(平成 30～令和 4 年度)
- 13) 公益社団法人千葉県看護協会 千葉県ナースセンター運営委員会 委員(平成 30～令和 4 年度)
- 14) 公益社団法人千葉県看護協会 看護研究委員会 委員(平成 30～令和 4 年度)
- 15) 流山市在宅医療介護連携会議 委員(平成 30～令和 4 年度)
- 16) 公益社団法人日本看護協会 認定看護管理者カリキュラム基準検討ワーキンググループ 委員(平成 29 年度)
- 17) 杉並区在宅医療推進連絡協議会 事業推進企画部会 委員(平成 29～令和 3 年度)
- 18) 厚生労働省委託 在宅医療・介護連携推進支援事業プラン作成強化セミナー(実施団体: 株式会社富士通総研) アドバイザー(平成 29 年度)
- 19) 新潟県在宅医療・介護連携推進ワーキングチーム 委員(平成 29 年度)
- 20) 社会福祉法人柏市社会福祉協議会 理事(平成 29～令和 2 年度)
- 21) 一般社団法人千葉県訪問看護ステーション協会 監事(平成 29～令和 2 年度)
- 22) 柏市地域支えあい推進協議会 委員(平成 29～令和 4 年度)
- 23) 一般社団法人 Omaha System Japan 理事(平成 28～令和 4 年度)
- 24) 厚生労働省委託 在宅医療・介護連携推進支援事業プラン作成強化セミナー(実施団体: 株式会社日本能率協会総合研究所) アドバイザー(平成 28 年度)
- 25) 筑波大学医学医療系. 医の倫理委員会 委員(平成 27～令和 4 年度)
- 26) 滋賀県在宅医療セミナー企画委員会 委員(平成 25～29 年度)
- 27) 公益財団法人明治安田厚生事業団. 倫理委員会 委員(平成 24～令和 4 年度)
- 28) 公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団. 倫理委員会 委員(平成 23～令和 4 年度)
- 29) 東京都介護支援専門員研究協議会. 理事(平成 20～令和 4 年度)
- 30) 筑波大学医学医療系. 医の倫理委員会(ヒトゲノム・遺伝子解析研究) 委員(平成 24～26 年度)
- 31) 国立長寿医療研究センター. 平成 25 年度在宅医療・介護連携推進事業研修会 プログラム検討委員会 委員(平成 25 年度)
- 32) 社会福祉振興・試験センター. 介護支援専門員実務研修受講試験 委員(平成 22～23 年度)

- 33) 筑波大学大学院人間総合科学研究科. 医の倫理委員会(ヒトゲノム・遺伝子解析研究・疫学研究) 委員(平成 23 年度)
- 34) 財団法人パブリックヘルスリサーチセンター. Japan Public Outreach Program (JPOP) 学術小委員会 委員(平成 21~23 年度)
- 35) 東海大学健康科学部. 倫理委員会 委員(平成 22 年度)
- 36) CENTRES Advisory Panel(CAP), CENTRES (Clinical Ethics Network for Training Research and Support), managed by the Centre for Biomedical Ethics (CBmE) of the Yong Loo Lin School of Medicine at the National University of Singapore (July, 2010 - June, 2011)
- 37) 東京都福祉保健局. 在宅医療サポート介護支援専門員研修(実施団体: 特定非営利活動法人東京都介護支援専門員研究協議会) カリキュラム検討委員会 作業部会 委員(平成 21~22 年度)
- 38) 世田谷区地域福祉部介護保険課. ケアマネジメント困難事例集作成研究会 監修(平成 21 年度)
- 39) 川崎市介護支援専門員連絡会. 生涯研修体系構築部会 助言指導(平成 20~21 年度)
- 40) 東京都介護支援専門員研究協議会. 調査研究委員会 委員長(平成 19 年度)
- 41) 公立学校共済組合関東中央病院. 看護研究指導者(平成 18 年度)

13. 講義・講演

(1) 教育機関(大学等)

- 1) 東京医療保健大学大学院医療保健学研究科. プライマリケア看護実践特論 I(2023.5.27-6.3, 全 15 回中 2 回)
- 2) 東京医療保健大学感染制御学教育研究センター. 感染制御実践看護学講座(2023.4.26, 全 2 回中 2 回)
- 3) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科. ヘルスサービスリサーチ看護特論 I(テーマ: 看護関連ビッグデータ: 柏市における取組み, 2023.6.2, 全 1 回)
- 4) 広島大学医学部保健学科. 地域包括ケア論(2023.5.15, 全 8 回中 1 回)
- 5) 東海大学大学院医学研究科. 看護倫理(2022.4.15-6.3, 全 15 回中 6 回)
- 6) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科. 老年サポートシステム・制度論(テーマ: 高齢者を支える持続可能なサービスの開発, 2022.12.20, 全 2 回)
- 7) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 分野別全体会, 2022.11.13, 全 1 回)
- 8) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2022.11.14-28, 全 4 回)
- 9) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2022.10.31, 全 2 回)
- 10) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 I(2022.9.2, 全 15 回中 4 回)
- 11) 徳島大学大学院医歯薬学研究部看護リカレント教育センター. とくしま発・在宅ケア学(テーマ: プライマリ・ケアの推進に向けて看護職の果たすべき役割, 2022.8.27, 全 9 回中 1 回)
- 12) 東京大学教養学部. 総合科目 D(人間・環境): 看護学概論 I(テーマ: 地域包括ケアと複線的

- キャリア, 2022.7.7, 全1回)
- 13) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科. 看護ケア技術開発特論 A(テーマ: 医療・介護ビッグデータの構築と活用, 2022.6.10, 全1回)
 - 14) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2022.4.23-30, 全15回中6回)
 - 15) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科. 老年サポートシステム・制度論(テーマ: 高齢者を支える持続可能なサービスの開発, 2021.12.14, 全2回)
 - 16) 東京大学教養学部. 総合科目 D(人間・環境): 看護学概論 II(テーマ: 地域包括ケアと複線的キャリア, 2021.12.2, 全1回)
 - 17) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2021.12.7-13, 全4回)
 - 18) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2021.11.22, 全2回)
 - 19) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 分野別全体会, 2021.11.14, 全1回)
 - 20) 東京情報大学看護学部. 保健福祉行政論(2021.10.9-16, 全8回中8回)
 - 21) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 I(2021.9.10, 全15回中4回)
 - 22) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科. 看護ケア技術開発特論 A(テーマ: 医療・介護ビッグデータの構築と活用, 2021.5.14, 全1回)
 - 23) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2021.4.17-5.1, 全15回中6回)
 - 24) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科. 老年サポートシステム・制度論(テーマ: 高齢者を支える持続可能なサービスの開発, 2020.11.24, 全2回)
 - 25) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2020.12.17-22, 全4回)
 - 26) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2020.11.10, 全2回)
 - 27) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 分野別全体会, 2020.11.1, 全1回)
 - 28) 東京大学教養学部. 総合科目 D(人間・環境): 看護学概論 II(テーマ: 65歳以上人口35%・75歳以上人口20%の社会=2040年(とその先)を見据えた地域包括ケア体制の構築, 2020.10.15, 全1回)
 - 29) 東京情報大学看護学部. 保健福祉行政論(2020.10.3-10, 全8回中8回)
 - 30) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 I(2020.9.10, 全15回中4回)
 - 31) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科. 看護ケア技術開発特論 A(テーマ: 医療・介護ビッグデータの構築と活用, 2020.6.12, 全1回)
 - 32) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2020.5.21-5.28, 全15回中6回)
 - 33) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科. 老年サポートシステム・制度論(テーマ: 高齢者を支える持続可能なサービスの開発, 2020.1.7, 全2回)
 - 34) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2019.12.13-20, 全4回)
 - 35) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2019.12.9, 全2

- 回)
- 36) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 分野別全体会, 2019.10.20, 全 1 回)
 - 37) 東京大学教養学部. 総合科目 D(人間・環境): 看護学概論 II(テーマ: 65 歳以上人口 35%・75 歳以上人口 20%の社会=2040 年(とその先)を見据えた地域包括ケア体制の構築, 2019.10.3, 全 1 回)
 - 38) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 I(2019.9.7, 全 15 回中 4 回)
 - 39) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2019.4.27-5.25, 全 15 回中 6 回)
 - 40) 千葉県立野田看護専門学校. 在宅看護概論(2019.4.24-5.8, 全 15 回中 2 回)
 - 41) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2018.12.8-2019.1.12, 全 15 回中 8 回)
 - 42) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科. 老年サポートシステム・制度論(テーマ: 高齢者を支える持続可能なサービスの開発, 2018.12.18, 全 2 回)
 - 43) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2018.12.14-17, 全 4 回)
 - 44) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2018.12.10, 全 2 回)
 - 45) 横浜市立大学大学院医学研究科. 地域看護学特講 III(テーマ: ビュートゾルフ柏における実践, 地域で生活する複合課題を抱える支援困難事例に対する支援と今後の課題, 2018.11.15, 全 1 回)
 - 46) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 分野別全体会, 2018.10.28, 全 1 回)
 - 47) 東京大学教養学部. 総合科目 D(人間・環境): 看護学概論 II(テーマ: たった 1 年で国民の 1/70 が死んでいく時代=2040 年(とその先)を見据えた地域包括ケア体制の構築, 2018.10.18, 全 1 回)
 - 48) 東京医療保健大学大学院医療保健学研究科公開講座(テーマ: 生涯を通じて住民に伴走する地域看護を目指して: ビュートゾルフ柏の実践, 2018.7.21, 全 1 回).
 - 49) 千葉県立野田看護専門学校. 在宅看護概論(2018.6.19-26, 全 15 回中 2 回)
 - 50) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2018.5.12-26, 全 15 回中 6 回)
 - 51) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2017.12.16-2018.2.3, 全 15 回中 6 回)
 - 52) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2017.12.15-18, 全 4 回)
 - 53) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2017.12.11, 全 2 回)
 - 54) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 分野別全体会, 2017.10.22, 全 1 回)
 - 55) 千葉県立野田看護専門学校. 在宅看護概論(2017.6.6-13, 全 15 回中 2 回)
 - 56) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2017.5.20-27, 全 15 回中 6 回)
 - 57) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2017.1.5-10,

- 全 4 回)
- 58) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2016.12.10-17, 全 15 回中 8 回)
 - 59) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2016.12.7, 全 2 回)
 - 60) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 分野別全体会, 2016.10.23, 全 1 回)
 - 61) 千葉県立野田看護専門学校. 在宅看護概論(2016.6.7-14, 全 15 回中 2 回)
 - 62) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2016.5.14-28, 全 15 回中 6 回)
 - 63) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2016.1.5-12, 全 4 回)
 - 64) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2015.12.19-2016.1.9, 全 15 回中 8 回)
 - 65) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2015.11.26, 全 2 回)
 - 66) 政策研究大学院大学. 医療政策短期特別研修(テーマ: 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会について, 2015.7.24)
 - 67) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 医療従事者への道, 多職種協働, 全体会, 2015.5.29; 2015.7.26, 全 2 回)
 - 68) 千葉県立野田看護専門学校. 在宅看護概論(2015.6.2-16, 全 15 回中 2 回)
 - 69) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2015.5.16-30, 全 15 回中 6 回)
 - 70) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 3(テーマ: 在宅終末期にある人の看護, 2015.2.9-16, 全 4 回)
 - 71) 日本赤十字看護大学大学院看護学研究科. 地域看護学特講 II(テーマ: 多職種連携の研究的取り組みについて, 2015.2.13)
 - 72) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2014.12.21-2015.1.11, 全 15 回中 8 回)
 - 73) 慈恵柏看護専門学校. 在宅看護方法論 2(テーマ: 移動の困難な方への援助, 2014.12.15, 全 2 回)
 - 74) 政策研究大学院大学. 医療政策短期特別研修(テーマ: 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会について, 2014.7.18)
 - 75) 産業医科大学産業保健学部看護学科. 看護倫理学(テーマ: 終末期における倫理的問題と倫理調整, 2014.6.30)
 - 76) 千葉県立東葛飾高校. 東葛リベラルアーツ講座(テーマ: 地域医療とその問題点, 多職種協働, 全体会, 2014.6.14; 2014.8.2; 2014.10.25)
 - 77) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2014.5.17-31, 全 15 回中 6 回)
 - 78) 東京大学医学部健康総合科学科. 成人看護学 II(テーマ: 地域包括ケアとこれからの看護, 2014.4.25)
 - 79) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2013.12.15-2014.1.11, 全 15 回中 8 回)

- 80) 政策研究大学院大学. 医療政策短期特別研修(テーマ: 在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会について, 2013.7.19)
- 81) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2013.6.1-8, 全 15 回中 6 回)
- 82) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2012.12.15-2013.1.12, 全 15 回中 10 回)
- 83) 政策研究大学院大学. 医療政策短期特別研修(テーマ: 在宅医療研修について, 2012.7.20)
- 84) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2012.5.26-6.2, 全 15 回中 6 回)
- 85) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2012.1.7-21, 全 15 回中 9 回)
- 86) 目白大学大学院看護学研究科. 看護倫理特論(2011.10.8-2012.1.21, 全 15 回)
- 87) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2011.5.28-6.11, 全 15 回中 6 回)
- 88) 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻. 医療倫理学特論 II(テーマ: 医療機関の機能分化とその実際, 2011.2.4)
- 89) 東京医療保健大学大学院保健学研究科. 看護マネジメント特論 IV(2011.1.8-29; 全 15 回中 9 回)
- 90) 目白大学大学院看護学研究科. 看護倫理特論(2010.9.21-2011.1.18; 全 15 回)
- 91) 大阪市立大学大学院生活科学研究科. 障害者・高齢者福祉学分野(テーマ: 時間のかかるケースとは, 2010.7.9)
- 92) 東海大学大学院健康科学研究科. 看護倫理(2010.5.29-6.5; 全 15 回中 6 回)
- 93) 目白大学大学院看護学研究科. 看護倫理特論(2009.9.29-2010.1.19; 全 15 回)
- (2) 保健医療福祉従事者等対象
- 1) 日本赤十字社幹部看護師研修センター. 赤十字看護管理者研修 I ヘルスケアシステム論 I 保健医療福祉サービスの提供体制(2023.5.19, 全 1 回)
- 2) 千葉県プライマリ・ケア学術講演会. COVID 禍の多職種連携から学ぶこれからの地域連携: 看護師の立場から(2022.11.20, 全 1 回)
- 3) 埼玉県看護協会. “生きる”を共に支える地域連携(2022.11.12, 全 1 回)
- 4) 日本赤十字社幹部看護師研修センター. 赤十字看護管理者研修 III 組織間理論 III 組織デザインと組織運営(2022.9.26, 全 1 回)
- 5) 柏市富里地域ふるさと協議会. ささえあいの集い: 地域のつながり・居場所と健康(2022.9.10, 全 1 回)
- 6) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル V: 倫理(2023.1.30, 全 1 回)
- 7) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル IV: 倫理(2022.7.8; 2022.12.9, 全 2 回)
- 8) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル III: 倫理(2022.6.27; 2023.1.27, 全 2 回)
- 9) 日本赤十字社幹部看護師研修センター. 赤十字看護管理者研修 I ヘルスケアシステム論 I 保健医療福祉サービスの提供体制(2022.5.9, 全 1 回)
- 10) 山形県健康福祉部. 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者へのオンライン診療に関する研修会(2022.4.15, 全 1 回)

- 11) 一般社団法人ビジネスモデルイノベーション協会. ビジネスモデルオリンピア 2022: カイホウされるワタシたちとアップデートされるセカイ(2022.2.11, 全1回)
- 12) Care Show Japan 2022. 新型コロナウイルス感染拡大期における在宅チームの果たすべき役割(2022.2.10, 全1回)
- 13) 東京都介護支援専門員研究協議会. 大規模研修 COVID-19 第5波への対応の振り返りとこれから(2021.12.13, 全1回)
- 14) 流山市介護支援専門員連絡会. 困難事例への対応を考える: 業務範囲と BPD の視点から(2021.12.10, 全1回)
- 15) 埼玉県看護協会. “生きる”を共に支える地域連携(2021.11.13, 全1回)
- 16) 日本医療福祉生活協同組合連合会. 診療所看護責任者会議: 地域包括ケア時代における診療所看護師に期待すること(2021.10.30, 全1回)
- 17) 日本赤十字社幹部看護師研修センター. 赤十字看護管理者研修 III 組織間理論 III 組織デザインと組織運営(2021.9.16, 全1回)
- 18) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル III: 倫理(2021.7.16, 全1回)
- 19) 東京都看護協会. 認定看護管理者教育課程サードレベル ヘルスケアシステム論 III: ヘルスケアサービスの創造(2021.6.24, 全1回)
- 20) 長崎県介護支援専門員協会島原半島支部. コロナ禍における医療と介護の連携(2021.5.29, 全1回)
- 21) 日本赤十字社幹部看護師研修センター. 赤十字看護管理者研修 I ヘルスケアシステム論 I 保健医療福祉サービスの提供体制(2021.4.30, 全1回)
- 22) 日本医療福祉生活協同組合連合会. トップマネジメント研修(第8期医師幹部学校): ビュートゾルフ柏の地域看護実践(2021.1.27, 全1回)
- 23) 日本赤十字社幹部看護師研修センター. 赤十字看護管理者研修 III 組織間理論 III 組織デザインと組織運営(2021.1.25, 全1回)
- 24) 岡山経済同友会. 2020 年度第3回明日の人材委員会講演会: 階層型組織から管理を必要としない進化型組織 自主経営・ティール組織の研究(2020.12.8, 全1回)
- 25) 埼玉県看護協会. “生きる”を共に支える地域連携(2020.11.21, 全1回)
- 26) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル V: 倫理(2021.2.19, 全1回)
- 27) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル IV: 倫理(2020.11.16, 全1回)
- 28) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル III: 倫理(2020.10.26, 全1回)
- 29) 千葉県福祉ふれあいプラザ. 終末期の医療・介護について(2020.10.4, 全1回)
- 30) 全国市町村国際文化研修所. 高齢者が安心して暮らせるまちづくり: 医療と介護の連携を中心に(2020.9.15-17, 全1回)
- 31) 千葉県社会福祉士会. ぱあととなあ千葉レベルアップ研修: 認知症・終末期における意思決定支援について(2020.7.12, 全1回)
- 32) 東京都看護協会. 認定看護管理者教育課程サードレベル ヘルスケアシステム論 III: ヘルスケアサービスの創造(2020.7.2, 全1回)
- 33) 柏市光ヶ丘地域ふるさと協議会. 光ヶ丘ささえあいの集い: 地域のつながり・居場所と健康(2020.2.11, 全1回)
- 34) 埼玉県看護協会. “生きる”と共に支える地域連携(2020.1.18, 全1回)

- 35) NPO 法人 ACOBA. 令和元年度千葉県介護人材確保対策事業: 終末期の介護について(2019.12.20, 全1回)
- 36) 日本訪問看護財団. 訪問看護管理者セミナー: 訪問看護ステーションの ICT 化の先取り(2019.12.7, 全1回)
- 37) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル III: 倫理(2019.11.30, 全1回)
- 38) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル IV: 倫理(2019.10.28, 全1回)
- 39) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル V: 倫理(2019.10.10, 全1回)
- 40) 国立保健医療科学院. 令和元年度介護保険における保険者機能強化支援のための都道府県職員研修: 市町村支援における都道府県の役割を考える(2019.10.1, 全1回)
- 41) 埼玉県看護協会. 訪問看護管理者研修: 訪問看護ステーションの経営管理/経営を安定に導くマーケティング(2019.9.19, 2019.10.19, 全2回)
- 42) 日本プライマリ・ケア連合学会第 17 回秋季生涯教育セミナー. ティール組織(2019.9.23, 全1回)
- 43) 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク第 25 回全国の集い/地域医療研究会全国大会 in 東京 2019. ナースの多様な働き方を考える②: 地域を支えるナースの取り組みと未来(2019.9.16, 全1回)
- 44) 柏市社会福祉協議会. 後見支援員登録者研修: 人生の最終段階における意思決定支援について(2019.9.2, 全1回)
- 45) 東京都看護協会. 認定看護管理者教育課程サードレベル ヘルスケアシステム論 III: ヘルスケアサービスの創造(2019.7.22, 全1回)
- 46) 上尾中央医科グループ協議会キャリアサポートセンター. 認定看護管理者教育課程セカンドレベル: 地域連携を理解するための他施設実習(2019.7.16, 全1回)
- 47) 全国市町村国際文化研修所. 超高齢社会に向けた医療と介護の連携の推進 データ処理演習: 介護レセプトに焦点を当てて(2019.6.6-7, 全1回)
- 48) 柏市社会福祉協議会. これからの健康寿命: 健康維持には人とのつながりが大切(2019.5.10, 全1回)
- 49) 日本赤十字社幹部看護師研修センター. 平成 31 年度赤十字看護管理者研修 I ヘルスケアシステム論 I 保健医療福祉サービスの提供体制(2019.4.16, 全1回)
- 50) 平成 30 年度千葉県国保連東葛支部介護保険担当課長研修会. 地域包括ケアとその評価: 第 8 期介護保険事業計画に向けて(2019.3.20, 全1回)
- 51) 厚生労働省委託 平成 30 年度在宅医療・介護連携推進支援事業データ分析研修会. 指標について(2019.3.14; 2019.3.23, 全2回)
- 52) 厚生労働省委託 平成 30 年度在宅医療・介護連携推進支援事業意見交換会. 在宅医療・介護連携推進事業の PDCA サイクルについて(2019.1.20; 2019.2.11, 全2回)
- 53) 生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会福祉事業推進会議. ビュートゾルフ柏の地域看護実践(2018.12.7, 全1回)
- 54) 日本看護協会. 平成 30 年度訪問看護連絡協議会全国会議: 経営のポイント(2018.11.16, 全1回)
- 55) 第 10 回島原市介護予防フォーラム: 生涯を通じて住民に伴走する地域実践を目指して(2018.11.10, 全1回)

- 56) 平成 30 年度福岡県在宅医療・介護連携従事者支援研修会: 在宅医療・介護連携推進事業の実際の進め方, 地域実情に応じた在宅医療介護連携の実際(2018.10.16; 2019.1.28, 全 2 回)
- 57) 第 49 回日本看護学会(ヘルスプロモーション)学術集会基調講演: シームレスなケア提供に向けて、今後の日本の地域看護を考える: ビュートゾルフ柏の实践から(2018.9.20, 全 1 回)
- 58) 宮崎県. 平成 30 年度地域包括ケアにかかる研修会:, トークセッション: 各地域における在宅医療・介護連携の在り方について(2018.8.24, 全 1 回)
- 59) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル III: 倫理(2018.6.25; 2018.10.1, 全 2 回)
- 60) 全国市町村国際文化研修所. 超高齢社会に向けた医療と介護の連携の推進 ビュートゾルフ柏の地域看護実践, 総括講義ほか(2018.6.7-8, 全 1 回)
- 61) 杉並区在宅医療地域ケア会議拡大全体会: 在宅医療・介護連携の推進のためのデータ分析について(2018.6.5, 全 1 回)
- 62) 熊本県医療と介護の連携推進セミナー. 在宅医療・介護連携推進事業における評価の必要性と具体的な方法(2018.2.5)
- 63) 埼玉看護研究学会特別講演. 生涯を通じて住民に伴走する看護を目指して: ビュートゾルフ柏の实践(2018.1.27)
- 64) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル V: 倫理(2018.1.22, 全 1 回)
- 65) 藤沢市民病院臨床倫理講演会. 住民本位の医療について: 地域医療連携の視点から(2018.1.11)
- 66) 千葉県回復期リハビリテーション連携の会栄養士部会勉強会. ビュートゾルフ柏の地域看護実践(2017.12.2)
- 67) 全国赤十字老人福祉施設研修会. 介護施設と倫理(2017.11.16)
- 68) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル III: 倫理(2017.11.13-27, 全 2 回)
- 69) 筑紫医師会講演会. 日常生活圏域での在宅医療・介護連携を考える(2017.10.20)
- 70) 日本医療福祉生協連家庭医療学開発センター. 地域を支える診療所看護を考える公開セミナー: Nursing Cafe~地域包括ケア時代の診療所看護を探る~(2017.10.7)
- 71) 東京都介護支援専門員研究協議会小規模研修. 介護支援専門員と倫理(2017.4.20; 2017.9.23, 全 2 回)
- 72) 厚生労働省委託 平成 29 年度在宅医療・介護連携推進支援事業プラン作成強化セミナー. 現状把握と分析を通じた効果的な事業展開について(2017.7.20; 2017.8.6; 2017.8.24, 全 3 回)
- 73) 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部研修. ラダーレベル IV: 倫理(2017.9.25, 全 1 回)
- 74) 東京都看護協会. 平成 29 年度認定教育課程サードレベル 保健医療福祉組織論: ヘルスケアサービスの創造/連携を基盤としたサービス/在宅におけるヘルスケアサービス(2017.8.30, 全 1 回)
- 75) 宮崎県. 地域包括ケア夏合宿. 柏市における医療・介護データの活用事例(2017.8.25, 全 1 回)
- 76) 滋賀県. 平成 29 年度第 1 回市町在宅医療・介護連携推進セミナー. 在宅医療・介護連携推進事業における評価と PDCA(2017.8.7, 全 1 回)

- 77) 柏市生涯現役促進協議会. 生涯現役「介護・保育・生活支援」就労セミナー. みんなで支えあう長寿社会: 社会参加で輝く(2017.7.10, 全1回)
- 78) 全国市町村国際文化研修所. 超高齢社会に向けた医療と介護の連携の推進 総括講義(2017.6.2, 全1回)
- 79) 新潟市在宅医療・介護連携センター. 平成29年度在宅医療・介護連携推進事業情報交換会 in 新潟市. 在宅医療・介護連携推進事業の進め方とその評価: 第7期介護保険事業計画の策定に向けて(2017.5.19, 全1回)
- 80) 福岡県医師会. 地域包括ケア推進講演会. 地域包括ケアの進め方とその評価: 在宅医療・介護連携推進事業を中心に(2017.3.11, 全1回)
- 81) 平成28年度長崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会在宅医療・介護連携推進研修会. ビュートゾルフ柏の取り組みから日常生活圏域でのケア統合を考える(2017.2.20, 全1回)
- 82) 関東信越厚生局地域包括ケア推進課. 第3回地域包括ケア推進都県協議会. 在宅医療・介護連携推進事業の市町村支援を考える(2017.2.13, 全1回)
- 83) 山梨県福祉保健部健康長寿推進課. 平成28年度地域包括支援センター職員研修. 在宅医療・介護連携推進事業の進め方を考える(2017.2.8, 全1回)
- 84) 生活支援サービス展 2017. オランダの地域ケアに学ぶ: ビュートゾルフ柏の取り組み(2017.1.25, 全1回)
- 85) 近畿厚生局. 第1回近畿在宅医療・介護連携担当者研究会. 第7期介護保険事業支援計画の策定に向けた在宅医療・介護連携の課題とその対応(2017.1.16, 全1回)
- 86) 東葛市民後見人の会後見事務担当者スキルアップ研修会. 地域包括ケアシステム(2017.1.15, 全1回)
- 87) 平成28年度柏市通いの場基礎講座. 通いの場の現状:「ご近所カフェみんなのたまり場」の場合(2016.12.15, 全1回)
- 88) 平成28年度千葉県生活期リハビリテーション合同研修会. 在宅療養者への意思決定支援: 多職種が最期のときまで伴走し続けるために(2016.11.6, 全1回)
- 89) 平成28年度千葉県看護協会看護師職能交流会(領域 I). 地域包括ケア時代における看護職連携のあり方を考える: 柏市における在宅医療推進の取り組みとビュートゾルフ柏の実践を通じて(2016.11.5, 全1回)
- 90) 平成28年度東京都主任介護支援専門員研修. ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援(2016.10.29, 全1回)
- 91) 平成28年度京都府看護人材交流支援事業活動報告・説明会. 地域包括ケア時代における看護職の役割: 柏市における取り組みとビュートゾルフの実践を通じて(2016.10.24, 全1回)
- 92) 香川県在宅医療・介護連携に関する市町等勉強会. 現状把握と分析を通じた効果的な在宅医療・介護連携推進事業の展開について(2016.9.14, 全1回)
- 93) 千葉県訪問看護連絡協議会千葉市地区部会. ビュートゾルフ柏が目指す地域看護への取り組み(2016.9.10, 全1回)
- 94) 厚生労働省委託 平成28年度在宅医療・介護連携推進支援事業プラン作成強化セミナー. 現状把握と分析を通じた効果的な事業展開について(2016.9.4; 2016.9.11, 全2回)
- 95) 滋賀県市町在宅医療・介護連携推進セミナー. 地域包括システムと地域マネジメント: データ分析から実践に活かす(2016.8.9; 2016.11.8, 全2回)

- 96) 埼玉県在宅医療・介護連携推進事業における市町村担当職員研修. わがまちの在宅医療・介護連携の推進を考える(2016.8.4, 全1回)
- 97) 高齢者住宅フェア. オランダ式「ビュートゾルフ」が目指す「地域看護」への取り組み(2016.7.28, 全1回)
- 98) 日本公衆衛生協会平成28年度保健師等ブロック別研修会. 地域包括ケアシステム構築に向けた保健師の役割(2016.7.27, 全1回)
- 99) 東京都介護支援専門員研究協議会中規模研修. 人格の尊重及び権利擁護並びに倫理(2016.7.23, 全1回)
- 100) 第18回日本在宅医学会大会・第21回日本在宅ケア学会学術集会合同大会モーニングセミナー. 在宅医療・看護の「見える化」に向けて(2016.7.17, 全1回)
- 101) 至誠学舎東京地域包括ケア推進三市合同研修会. 地域包括ケアの仕組みづくり: 多職種連携(2016.7.6, 全1回)
- 102) 全国市町村国際文化研修所. 超高齢社会に向けた医療と介護の連携の推進 総括講義(2016.5.27, 全1回)
- 103) 厚生労働省第118回市町村職員を対象とするセミナー. 多職種研修の実施を通じた在宅医療・介護連携の推進について(2016.3.18, 全1回)
- 104) 第4回つるカフェ市民講座. ビュートゾルフ柏: 住み慣れた地域での穏やかで彩りある人生に生涯を通じて伴走する看護師集団(2016.2.22, 全1回)
- 105) 市川市在宅医療・介護連携に関する研修会. 在宅医療・介護連携における多職種協働(2016.1.30, 全1回)
- 106) 柏市介護支援専門員協議会基礎研修. 医療同意(2016.1.25, 全1回)
- 107) 栃木市在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会. 在宅医療の果たすべき役割(2016.1.24, 全1回)
- 108) 稲城市在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会. 多職種連携の果たすべき役割(2015.10.31, 全1回)
- 109) 平成27年度東京都主任介護支援専門員研修. ケアマネジメントとそれを支える介護支援専門員の倫理(2015.10.31, 全1回)
- 110) 平成27年度東京都介護支援専門員実務従事者基礎研修. ケアマネジメントとそれを支える介護支援専門員の倫理(2015.7.12; 2014.7.16; 2015.11.28; 2015.12.4, 全4回)
- 111) 千葉県/千葉県医師会. 在宅医療・介護連携に関するシンポジウム(テーマ: 在宅医療・介護連携における多職種協働の必要性, 2015.10.3)
- 112) 千葉県. 在宅医療・介護連携に向けた市町村勉強会(テーマ: 市町村と医師会が核となり、地域の在宅医療・介護連携を推進していくために, 2015.9.8)
- 113) 西東京市介護保険連絡協議会居宅介護支援事業者分科会. 西東京市ケアマネジメント研修(テーマ: 介護支援専門員の倫理・プライバシー, 2015.6.11)
- 114) 県北医療センター高萩協同病院. 平成26年度茨城県協働推進研修(テーマ: 地域包括ケアシステムと本人・家族の選択と心構え, 2015.2.28)
- 115) 野洲市地域包括支援センター. 平成26年度在宅医療推進事業研修会(テーマ: 在宅医療・介護連携支援センター(仮称)と地域包括支援センターの役割について, 2015.2.17)
- 116) 埼玉県介護支援専門員協会. 平成26年度主任介護支援専門員研修会(テーマ: 介護支

- 援専門員のスーパービジョン実践としての地域同行型実地研修について, 2015.2.12)
- 117) 千葉県看護協会. 平成 26 年度第 3 回東葛地区部会研修会(テーマ: 地域包括ケアシステムを活用した病院と地域における看護職連携の在り方を考える, 2015.2.5)
 - 118) 日本医業経営コンサルタント協会新潟県支部継続研修(テーマ: 地域包括ケアと 2025 年までの対応, 2014.12.4)
 - 119) 平成 26 年度豊島区在宅医療コーディネーター研修(2014.11.26; 2014.12.17; 2015.1.21; 2015.2.18, 全 4 回)
 - 120) 平成 26 年度東京都主任介護支援専門員研修. ケアマネジメントとそれを支える介護支援専門員の倫理(2014.8.9; 2014.11.30, 全 2 回)
 - 121) 平成 26 年度東京都介護支援専門員実務従事者基礎研修. ケアマネジメントとそれを支える介護支援専門員の倫理(2014.7.12; 2014.7.17; 2014.11.15; 2014.11.28, 全 4 回)
 - 122) 大分県看護協会. 平成 26 年度三職能合同交流集会(テーマ: 地域包括ケアシステムの構築について: 在宅医療・看護・介護の連携を中心に, 2014.9.6)
 - 123) 日本医療コーディネーター協会. 医療コーディネーション講座(テーマ: 医療倫理, 2014.7.27)
 - 124) 福岡県介護支援専門員協会北九州支部研修会(テーマ: 東京都の地域包括ケアシステムに向けた取り組み, 2014.1.18)
 - 125) 日本医療コーディネーター協会. 医療コーディネーション講座(テーマ: 医療倫理, 2013.10.20)
 - 126) 平成 25 年度東京都主任介護支援専門員研修. ケアマネジメントとそれを支える介護支援専門員の倫理(2013.8.21; 2013.12.12, 全 2 回)
 - 127) 平成 25 年度東京都介護支援専門員実務従事者基礎研修. ケアマネジメントとそれを支える介護支援専門員の倫理(2013.7.19; 2013.8.3; 2013.11.24; 2013.12.4, 全 4 回)
 - 128) 大阪府看護協会. 平成 25 年度保健師助産師看護師合同職能集会講演会(テーマ: 超高齢化社会における医療政策の展望と看護職の役割, 2013.6.15)
 - 129) 柏市介護支援専門員協議会主任介護支援専門員研修(テーマ: 短期実習プログラムについて, 2013.5.14)
 - 130) 埼玉県介護支援専門員協会. 平成 24 年度主任介護支援専門員研修会(テーマ: 介護支援専門員のスーパービジョン実践としての OJT の実践に関する研究について, 2013.2.28)
 - 131) 松戸市ケアマネジャーネットワーク役員会研修(テーマ: スーパービジョンについて, 2013.1.30)
 - 132) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 24 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル III(2012.9.14; 2012.9.21; 2012.12.14; 2012.12.21; 全 4 回)
 - 133) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 24 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル II(2012.11.28; 全 1 回)
 - 134) 千葉県看護協会. 訪問看護師養成研修会(テーマ: 在宅における倫理調整, 2012.11.17)
 - 135) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 24 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル II(2012.10.24; 全 1 回)
 - 136) 柏市光ヶ丘地域包括支援センター. 地域包括ケア地区別研修(テーマ: 困難事例, 2012.9.19)

- 137) 神奈川県立足柄上病院. 職員研修(テーマ: 看護倫理, 2012.7.25)
- 138) 筑波大学附属病院看護部. 平成 24 年度新採用者オリエンテーション(テーマ: 看護倫理, 2012.4.4)
- 139) 筑波大学附属病院看護部. 平成 23 年度看護師長及び看護師長代行者対象研修会(テーマ: 看護倫理, 2012.3.1)
- 140) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 23 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル I(2011.11.7; 2011.11.15; 2011.11.18; 全 3 回)
- 141) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 23 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル II(2011.10.17; 2011.10.26; 2011.10.31; 全 3 回)
- 142) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 23 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル III(2011.9.9; 2011.9.29; 2011.12.13; 2012.1.13; 全 4 回)
- 143) 東京都介護支援専門員研究協議会. ミニ研修(テーマ: 介護支援専門員の業務範囲, 2011.9.3)
- 144) 東京都介護支援専門員研究協議会. ミニ研修(テーマ: 臨床の倫理, 2011.7.16)
- 145) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 22 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル I(2010.11.19; 2010.11.26; 2010.11.29; 全 3 回)
- 146) 日本医療コーディネーター協会. 医療コーディネーター基礎講座(テーマ: 倫理調整, 2010.11.13)
- 147) 平成 22 年度国立大学病院患者相談対応ワークショップ(担当: 患者相談演習 1; 患者相談演習 2, 2010.11.5)
- 148) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 22 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル II(2010.10.13; 2010.10.18; 2010.10.22; 全 3 回)
- 149) 東京都保健医療公社荏原病院. 職員研修(テーマ: 医療倫理, 2010.9.15)
- 150) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 22 年度キャリアラダー別研修 看護倫理 レベル III(2010.9.1; 2010.9.29; 2010.12.10; 2011.1.24; 全 4 回)
- 151) 世田谷区ケアマネジャー連絡会. 主任ケアマネ部会研修(テーマ: 困難事例について, 2010.7.21)
- 152) 東京都介護支援専門員研究協議会. ミニ研修(テーマ: 社会調査の基礎, 2010.7.3)
- 153) 東京都保健医療公社荏原病院. 職員研修(テーマ: 医療倫理, 2010.2.17)
- 154) 東京大学生命・医療倫理教育研究センター(UT-CBEL). 平成 21 年度患者相談・臨床倫理コンサルテーション冬期集中コース(担当: 患者相談窓口の位置付けと現況; 患者相談演習; 臨床倫理コンサルテーション演習, 2010.2.6-7)
- 155) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 21 年度必修研修 看護倫理 基礎 II(2009.11.20; 2009.11.25; 2009.11.27; 全 3 回)
- 156) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 21 年度必修研修 看護倫理 基礎 I(2009.10.26; 2009.10.29; 2009.11.4; 全 3 回)
- 157) 東京大学医学部附属病院看護部. 平成 21 年度必修研修 看護倫理 ジェネラリスト (2009.7.22; 2009.12.21; 全 2 回)

以上